令和3年度使用中学校用教科用図書

東濃採択地区 調査研究結果



令和2年7月9日(木) 東濃採択地区協議会 研究員会

【種目】 国語

【発行者】 4 者

- 2 東京書籍
- 15 三省堂
- 17 教育出版
- 38 光村図書出版

調査項目 見 意 1 ・各学年において、各領域の教材のページの分量は適当であり、概ねバランスよく構成さ 基礎的・基本的な れている。「書くこと」において重点的に学習が進められるよう、よく配慮されている。 知識及び技能を ・漢字に関する学習では、導入教材で言葉の課題を提示し、巻末で詳しく学習することに 確実に習得させ、 より、日常生活や他教科の学習とも関わり合いながら生きた言葉の学習ができるよう配 これらを活用し 慮されている。 て課題を解決す ・各領域の学習前に「学びの扉」で指導内容の導入がなされ、その後「てびき」で指導過 るために必要な 思考力、判断力、 程が示されている。目標→学習活動→振り返りの構成がなされている。終末の言語活動 表現力等を育む の内容を「言葉の力」で解説し、更に巻末にまとめている。 こと 「読むこと」の文学的文章教材では、学習目標を思考力・判断力・表現力で2点設定して いる。終末の言語活動は、各学年とも「話すこと・聞くこと」で統一されており、学習 目標に沿って活動できるようよく配慮されている。 ・学習の手引きとして「学びの扉」があり、学びのポイントが漫画で解説され、生徒の関 主体的に学習に取 心を惹くようよく配慮されている。 り組む態度を養 ・全学年の「読むこと」に「言葉とメディア」の説明的文章を掲載し、ニュースや新聞の い、個性を生かし 見方、読み方について、各学年に段階を追って考えられるよう、教材文の選定がよく図 多様な人々との協 られている。 働を促すととも ・脚注数は1年生「少年の日の思い出」13、「竹取物語(冒頭)」4、2年生「走れメロス」 に、生徒の学習習 慣が確立するよう 25、「枕草子(第一段)」7、3年生「故郷」19、「奥の細道(冒頭)」15とやや多く、個人 配慮すること 追究がしやすいようよく配慮されている。 ・巻末資料は基礎編と資料編の2つに分けて収録されている。基礎編は、「学びを支える言 葉の力」が1題ずつ詳しいポイント解説付きで提示され、家庭学習でも十分使用できる ようよく配慮されている。 「読書案内」の中で、他教科等における書籍として、社会科、理科、保健体育科・美術科、 学習指導要領に 技術・家庭科、道徳科、キャリア教育等、幅広いジャンルの書籍を掲載し、国語科以外 示された各教科 の教科等の読書指導ができるよう十分配慮がされている。 の配慮事項にか ・1年生の教科書において、「図書館で調べよう」「情報の調べ方」のページを設け、図書 かわること 館の中でどのように情報を調べればよいのかという基本的な内容を掲載し、中学校入学 段階で効果的に情報収集ができるよう配慮されている。 ・図書館での情報の調べ方として、「書架(本棚)から探す」方法と、「検索する」(コンピ ュータを使って検索する) 方法を紹介している。また、「書籍を使い分ける」として「事 典・図鑑」「辞典・辞書」「年鑑」の使い分け方や、「工夫して調べる」として目次や索引 の使い方を説明し、様々な方法で調べられるような配慮がされている。 ・「読むこと」の学習の手引き「てびき」は、目標に応じた学習の観点が2ステップで設定 東濃地区の教員 されており、学習内容を学べるようよく配慮されている。 及び児童の実態 ・「言葉の力」が設定されており、各領域の学び方を学年ごとに系統的に学ぶことができる を踏まえた教育 ようになっている。また、「学びの扉」を導入にし、「学びを支える言葉の力」(巻末)で の充実に関する 深く学ぶことができるようよく図られている。 こと ・総ページ数…平均 347.3 ページ ・重量…平均 593g 5 印刷・製本にかか ・表紙はさらさらとした質感で、しっかりとした厚みがある。明朝体やゴシック体の文字 わること も手書きに近い文字の形を採用している。古典の現代語訳は茶系の色を使用している。 ・目次は3ページ。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「古典」が色の異なる 記号を使って示され、各領域が一目で分かるようよく配慮されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的を ・基本的を を を を を を を を を を を を を を	 ・各学年において、各領域の教材のページ数は十分であり、バランスよく構成されている。特に「話すこと聞くこと」において重点的に学習が進められるよう十分配慮されている。「情報」に関する単元を各学年で位置付けている。 ・漢字の学習に関しては、各単元の終末に「漢字を身につけよう」を位置付け、多くの練習問題に取り組ませることで、学年別漢字配当表の漢字に加え、中学修了までにそれ以外の常用漢字を読むことができるように十分配慮されている。 ・各領域に「学びの道しるべ」で指導過程が示されている。目標→学習活動→振り返りの構成で統一されている。「学びを広げる」で様々な領域の言語活動を示し、学びにいかせるようよく配慮されている。 ・「読むこと」の文学的文章教材では、学習目標を思考力・判断力・表現力で2点設定している。終末の言語活動のポイントを「思考の方法」で解説し、抵抗なく学習できるようよく配慮されている。なお、「思考の方法」で解説し、抵抗なく学習できるようよく配慮されている。なお、「思考の方法」は巻末に図式化され、まとめられている。
2 主体的に学習に取り組む態度を集かい、個性をとせるととの場合を促すとともでは、生徒のははない。 質が確立するとというでは、 でである。	・全学年情報の単元を設定している。情報の検索方法、活用方法などに関する単元があり、 社会生活に生かせるようよく配慮されている。 ・脚注数は第1年生「少年の日の思い出」12、「竹取物語(冒頭)」2、2年生「走れメロス」
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	 ・「読書案内」の中で、1年生から3年生まで「言葉」「自然科学」「文化」「平和」「生き方」「心」と共通したジャンルで書籍の紹介を行っている。また、上記のジャンル以外でも数学科、美術科、家庭科にかかわる内容の本についても紹介し、様々な教科の読書活動につながるよう配慮されている。 ・巻末資料では、「図書館で探す」のページを3学年共通で掲載している。図書館の本が、「日本十進分類法」によって蔵書管理されていることの説明をするとともに、本のラベルには「分類記号」「図書記号」「巻冊記号」が書かれ、どのように配置されているかが分かりやすく示されている。どの学年でも、図書館の基本的な書籍配列の仕方が分かるよう配慮されている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	 ・「読むこと」の学習の手引き「学びの道しるべ」は、「内容を整理する→読みを深める→自分の考えを深める→学びを振り返る→学びを広げる」の5ステップで構成されており、見開きの2ページに大変分かりやすく提示されている。また、目標と対応した振り返りの観点に整合性がある。 ・「読み方を学ぼう」「思考の方法」が設定され、思考力・判断力・表現力を伸ばすための方法を学べるようよく配慮されている。両者共に巻末に一覧になっている。
5 印刷・製本にかか わること	・総ページ数…平均351.6ページ ・重量…平均559.3g ・折り込みページは全学年2枚あり文章構成が一目で把握できるよう十分配慮されている。 ・表紙はさらさらとした質感で、厚さはやや薄い。 ・目次は4ページ。「話す・聞く」「書く」が記号化して示されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的を 知識に習得させ、 記書におりませる。 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	 ・各学年において、各領域の教材のページ数は適当であり、バランスよく構成されている。「学びチャレンジ」という独自の問題が位置づけられており、総合的に学習できるようよく配慮されている。 ・漢字の学習では、漢字の音・訓や部首についての解説をした後に、練習問題が設定されている。また、単元の終末に既習漢字の練習問題が位置づけられており、適宜漢字の基礎知識が学べるようよく配慮されている。 ・各領域の学習前に学習目標が示され、「学びナビ」で学習のポイントが明確になるよう工夫されている。「みちしるべ」で学習活動と振り返りの内容が説明され、学習の手順が理解できるようよく配慮されている。 ・「読むこと」の文学的文章教材では、学習目標を知識・技能1点、思考力・判断力・表現力2点の3点設定している。終末の言語活動は、各学年とも「話すこと・聞くこと」で統一されており、学習目標に沿って活動できるようよく配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度を生か、個性を生めの場合を促すととの場合を促するともでは、生徒の学習習慣が確立することをできます。	・学習の手引きとして、学びに向かうための「学びナビ」で、国語の学習に必要な用語がおさえられるよう配慮されている。 ・全学年の「読むこと」に「メディアと表現」の教材がある。1、2年生に2つずつ、3年生に3つ掲載され、メディアの見方や表現の仕方が学習できるよう配慮されている。 ・脚注数は1年生「少年の日の思い出」10、「竹取物語(冒頭)」1、2年生「走れメロス」
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	・「読書案内」の中で、他教科等における書籍として、全学年「表現・対話・思想」「自然・環境・科学」「伝統・文化・歴史」「近代化・国際社会・共生」「身体・生命・家族」等、様々な教科にかかわる書籍を紹介している。また、食やキャリア教育にかかわることなど、幅広い内容の本を紹介できるような配慮がある。 ・1年生では、「みちしるべ」として本の中から情報を取り出す手立てを紹介している。その中で、「目次」「前書き・後書き」「注」「奥付」等を挙げ、本文以外の所からどのように情報を探すかを示し、効果的に図書館の利用ができるよう配慮がされている。・2年生では「みちしるべ」の中で「図書館を活用しよう」として、本、新聞、雑誌のみでなく、音声や映像資料もあることを取り上げ、様々な方法での図書館利用の仕方があることを理解できるよう配慮されている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	 ・「読むこと」の学習の手引き「みちしるべ」は、「内容を読み深めよう→自分の考えを伝え合おう」という2ステップで構成されており、学習しやすいように配慮されている。また、目標と対応した振り返りの観点に整合性がある。 ・「学びナビ」が設定され、学習内容や学習の仕方を学んでから本文を読む構成になっており、学習者が何を学ぶのか分かるよう図られている。
5 印刷・製本にかか わること	・総ページ数…平均358ページ ・重量…平均587g ・表紙はさらさらとした質感で、やや厚みがある。古典の現代仮名遣いは赤系の色を使用し、古文と現代語訳が一目で見分けられるよう配慮されている。 ・目次は4ページ。「学びナビ」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「メディアと表現」が記号化して示され、他との違いが見やすく配慮されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的を 知識に習得され 実にをを に関わる では、 を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	 ・各学年において、各領域の教材のページ数は十分であり、バランスよく構成されている。特に「書くこと」において重点的に学習が進められるよう十分配慮されている。 ・漢字に関する学習では、新出漢字の読みの学習に加え、第1学年では、小学校での既習語句を使い、文や文章中で使えるよう短文を書く問題が設定されている。学年別漢字配当表の漢字に加え、中学修了までにそれ以外の常用漢字を読むことができるよう十分配慮されている。 ・各領域の活動前に見開きで指導過程が示されている。目標→学習活動→振り返りの構成で統一されている。学習活動前に「生かす」、活動後に「つなぐ」を位置付け、既習事項を次の学習に活用し、連続性をもって社会生活に生かせるよう十分配慮されている。 ・「読むこと」の文学的文章教材では、学習目標を知識・技能1点、思考力・判断力・表現力1点の2点設定している。学習目標の注目点を「学習の窓」で解説しており、終末の言語活動を、学習目標に沿う形で学べるよう十分配慮されている。
2 主体的に学習に取りませる。 りに関係を生めのは をはなりませる。 を促するとも は、な確立すると でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 である。	・「情報」の小単元において、情報の扱い方や見方、考え方が3年間を通して身に付けられるよう十分配慮されている。 ・脚注数は1年生「少年の日の思い出」15、「竹取物語」1、2年生「走れメロス」28、「枕草子(第一段)」6、3年生「故郷」20、「おくのほそ道(冒頭)」41と、やや多く個人追
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	 ・「読書案内」の中で、他教科等における書籍として、社会科、理科、音楽科、美術科、技術・家庭科、道徳科、キャリア教育等、幅広いジャンルの書籍を掲載し、国語科以外の教科等の読書を推進するようによく配慮されている。 ・1年生の教科書「本の世界を広げよう」の中で、中学校生活の一日を題材にし、登校から下校までの時間で美術、数学、理科、保健体育、給食、国語、部活動等の本を紹介し、他教科での読書活動の推進を行えるよう十分配慮されている。 ・1年生の教科書「情報を集めよう」において、図書館における本の探し方や本の中からの情報の探し方を紹介するとともに、辞典、事典、図鑑や新聞、雑誌等の活用など基本的な図書館利用方法を理解できるよう配慮されている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	 ・「読むこと」の学習の手引きは、「見通しをもつ→捉える→読み深める→考えをもつ→振り返る」の5ステップで構成されており、学習活動や学習の観点などが見開きの2ページに大変分かりやすく提示されている。また、目標にリンクした学習活動に対応した振り返りの観点が設定されている。 ・「学習の窓」「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」が教材や題材と関連させて設定され、各領域の学び方や用語等、情報の整理の仕方や思考の方法を学年ごとに系統的に学べるよう十分配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・総ページ数…平均333.3ページ ・重量…平均564g ・折り込みページ数は1年と3年2枚、2年3枚。一目で必要な情報が得られるよう紙面の構成が十分図られている。 ・表紙の質感がざらざらしており滑りにくいため、手に持って音読するのに適している。 ・目次は4ページ。「話すこと・聞くこと」「書くこと」、「読むこと」、「読書」、「情報」が色の異なる記号を使って示され、各領域が一目で分かるよう十分配慮されている。

【種目】 書写

【発行者】 4 者

- 2 東京書籍
- 15 三省堂
- 17 教育出版
- 38 光村図書出版

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本的を 選別では を できる できませい できまれ と を できまれ と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	・基礎的・基本的な知識・技能が段階的に身に付けることができるよう、よく工夫されており、技能を習得する教材が1年生では12,2年生では12,3年生では8と、各学年において適切な量が位置付けられている。 ・姿勢と筆記用具の持ち方及び基本の点画の書き方が、写真やイラストを用い5ページにわたって、丁寧に説明されている。また、手本を見ながら書き込める欄が多めに設定されているなど、基礎・基本を身に付けることができるように十分配慮されている。 ・1年生の導入段階で、小学校の学習を振り返る単元が位置付けられており、小学校との系統性を強く意識した構成の工夫がなされている。また、3年生では身の回りの多様な文字を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことに重きを置いた構成がなされており、1・2年生で身に付けた知識や技能を生かすという発展性においても十分配慮されている。 ・学習過程の導入において、「見つけよう」が必ず位置付けられており、生徒自らが学習課題を主体的に捉え、問題解決的な学習となるよう工夫されている。
2 主体的に学習に取り出版度を生かしません。 動をはなりという。 を生徒のははい、 はなけるとという。 はないではないでするという。 はないではないできます。 はないできまする。 とないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 はないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできまする。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないでもな。 とないでもな。 とないでもな。 とないでもな。 とないでもないでもな。 とないでもな。 とないでもな。 とないでもな。 とないをもないとないでもな。 とないでもない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。 とない。 と	 「生活に広げよう」のページが単元ごとに5カ所効果的に位置付けられており、行事の案内文、職場体験学習の依頼文や礼状など、他教科や学校生活さらに社会生活とのかかわりの中で、学んだ知識・技能を生かすことができるよう十分工夫されている。 ・案内文や年賀状を書く学習においてもわかりやすい手本が示されており、大切なポイントの解説もあるなど、学習意欲を喚起する資料の工夫がなされている。
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	・「生活に広げよう」のページでは、本のポップを書く(国語)・情報を整理したノートの書き方(理科)・職場訪問の依頼(総合)・防災訓練の案内やまとめの新聞(防災学習)等、他教科や領域に関連させた内容が多く取り上げられており、書写で身に付けた知識・技能を他教科で生かすことができるようによく配慮されている。 ・文字の成り立ちや変遷、伝統的な用具、書写の古典など内容がコラム「文字のいずみ」で多く取り上げられている。豊富な写真を効果的に配置し、文字文化に興味をもち、親しもうとする態度を育成できるようによく工夫されている。 「書写活用ブック」では手紙・入学願書・のし袋・電子メール等、生活で使う様々な書式を取り上げており、書写の技能を日常で活用できるようによく工夫されている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	・見開きで学習が進められるように十分配慮されている。導入の「見つけよう」で、2パターンの文字を比較することを通して課題を焦点化させ、「生かそう」で他の文字に生かして書くという授業の流れが明確であり、経験の多少にかかわらず、指導しやすいように十分配慮されている。 ・学習したことを毎時間の「生かそう」によって、これまでの学習を自分で確認、その後に活用できるように十分工夫されている。
5 印刷・製本にかか わること	・縦はB5、横はA4サイズで、他と比べて、紙面が広く見やすい。表面は撥水加工がされており、毛筆の使用に耐える装丁になっている。 ・巻末資料に「新聞」「ポスター」「フリップ」「レポート」の書き方も挙げられており、学校生活で実際に使えるように十分配慮されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本的とでは、基本的をでは、基本ののでは、 は、 は	 ・基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付けることができるよう、よく工夫されており、手本が大きく示されていることから、鉛筆や筆で上からなぞりながら習得できるようによく配慮されている。 ・姿勢と筆の持ち方及び点画の種類と筆使いが、写真やイラストを用い7ページにわたって、わかりやすく説明されている。また、手本を見ながら書き込める欄も多く、基礎・基本を身に付けることができるようによく配慮されている。 ・1年生の導入段階で、「学習のはじめに」が位置付けられており、小学校で学んだ基本を解説するなど小学校との系統性を意識した構成の工夫がなされている。また、3年生では身の回りの多様な文字を通して文字文化の豊かさに触れ、文字を書くことの必要性について考えさせることに重きを置いた構成がなされており、1・2年生での学びを生活の中で生かすという発展性においてもよく配慮されている。 ・学習過程において、「見つけよう、考えよう」が効果的に位置付けられており、生徒自らが学習課題を主体的に捉え、意欲的に学習できるよう工夫されている。
2 主体的に学習に取り組む態度を生かし 多様なすととの協 働を促すとともに、生徒の学習よう でであること	作品では、またには相音集と、子校生活とのがかがりの中で、子がた知識・技能を生かすことができるよう工夫されている。 ・情報誌の作成や名言集作りでは、わかりやすい手本に加え、写真やイラストが効果的に配列されており、学習意欲を喚起する資料の工夫がなされている。
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	 「名言集を作ろう」(国語)「仮名の字形/文字の大きさと配列」「理科の課題文」(理科) 「行書での四十七都道府県名」(社会)「グループ新聞を書こう」(学校生活)「情報誌を書こう」等が取り上げられており、他教科と関連が図られるようよく配慮されている。 ・2年生「楷書と行書の使い分け」のページでは、「漢字テスト」「伝言を受けたときのメモ」「お礼状を書く」といった目的・読み手、状況が異なる場面での書き方の使い分けを考えることができるようによく工夫されている。 ・コラムには文字の変遷や、書の古典、巻末資料には毛筆の道具の作られ方が取り上げられており、文字の伝統と文化に興味がわくようによく工夫されている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	 ・左ページに手本、右ページに指導内容が掲載されている。①目標を確かめ学習の見通しをもつ②「書き方を学ぼう」で書き方のポイントをつかむ③書き方のポイントが他の文字ではどこで使われているか考える④毛筆で練習する⑤硬筆で書いて確かめる。という流れがひとまとまりになって指導できるように配慮されている。 ・「書き方を学ぼう」には学習する内容が明示されており、自分で学習状況を確認するのに活用できるようによく工夫されている。
5 印刷・製本にかか わること	・開きやすく丈夫なB5サイズ中綴じの製本になっており、見開きで使用する毛筆学習に適している。表面は撥水加工がされており、毛筆の使用に耐える装丁になっている。 ・目次や右ページの端が学年ごとに色分けされており、学習するページを探しやすいように十分配慮されている。

調査項目 意 見 1 ・基礎的・基本的な知識・技能が段階的に身に付けることができるよう、よく工夫されて 基礎的・基本的な いる。とりわけ技能を習得する教材が、各学年に適切に配置されており、1年生では17、 知識及び技能を 2年生では14、3年生では6と充実している。 確実に習得させ、 ・姿勢と用具の使い方及び基本点画の種類が、写真やイラストを用い4ページにわたって、 これらを活用し わかりやすく説明されている。また、手本を見ながら書き込める欄も多く、基礎・基本 て課題を解決す を身に付けることができるようによく配慮されている。 るために必要な 思考力、判断力、 3年生では、身の回りの多様な文字を通して文字文化の豊かさに触れ、用途に合わせて 表現力等を育む 効果的な文字を書くことに重きを置いた構成がなされており、1・2年生での学びを生 こと 活の中で生かすという発展性においても十分配慮されている。 ・学習過程において、「試し書き」のあとに「考えよう」が必ず位置付けられており、生徒 自らが学習課題を主体的に捉え、より美しい字を追究しようと考えながら意欲的に学習 できるように工夫されている。 「学習活動や日常生活にいかそう」が2年生の最後にまとめられており、新聞やポスター 主体的に学習に取 など様々な場面で、1・2年生で学んだことを生かすことができるよう十分工夫されて り組む態度を養 いる。また、3年生では多様な文字に触れ、表現効果を考えたり、3年間の学習を生か い、個性を生かし した表現活動に取り組んだりするなど、中学校3年間の学びの系統性も意識できるよう 多様な人々との協 十分に配慮されている。 働を促すととも 手紙を書く学習では、わかりやすい手本や写真やイラストが効果的に配列されているの に、生徒の学習習 慣が確立するよう に加え、書き方の手順も示されているなど資料の十分な工夫がなされている。 配慮すること ・学習の進め方が2ページにわたって、丁寧に説明されており、学習のサイクルが非常に わかりやすい。また、自己評価もできるよう評価項目が明示してあり、自分で学習を進 めることができるようによく配慮されている。 3 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」(国語・社会)「校庭の植物をレポートにまとめる」 学習指導要領に (理科)「おすすめの本の帯やポップを作る」「ポスターを書く」「あの人が残した文字」(図 示された各教科 書) 「日本建築と書」 (社会)、 「多様な表現による文字」 では都道府県の城跡の文字(社会) の配慮事項にか などが取り上げられ、他教科や図書館教育との関連が十分に配慮されている。 かわること ・コラム「季節の行事と書写」のページでは、書写の学習を学校生活のどのような場面で 生かすことができるのかを考えることができるようによく工夫されている。 ・コラムでは、書写の道具がどのように作られるか・文字の変遷・書の古典の鑑賞が写真 付きで分かりやすく取り上げられており、書写の伝統と文化に親しめるように十分に工 夫されている。 ・見開きで1時間の指導内容とし、右ページに手本、左ページに指導内容が掲載されてい 東濃地区の教員 る。①目標を確かめる②「考えよう」で自分の課題を見つけ毛筆で練習する③「生かそ 及び児童の実態 う」で硬筆で書いて確認する④「振り返ろう」で自己評価と相互評価をするという流れ を踏まえた教育 が明確であり、指導しやすいように十分配慮されている。 の充実に関する ・「試し書き」と「まとめ書きと応用」が位置付けられていることで、1単位時間での変容 こと を実感することができるように十分配慮されている。 縦はB5、横はA4サイズで、他と比べて、紙面が広く見やすい。表面は撥水加工がさ 印刷・製本にかか れており、毛筆の使用に耐える装丁になっている。 わること ・書き込み欄のマスには方眼、罫線には中央を示す線が付けられており、文字の大きさや バランスを意識しながら書けるようによく工夫されている。

調査項目	意 見
1 基礎的・基本的な知識に習得活性では、 を表すると、 と、 と、 は、 は、 は、 は、 は、	 ・基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付けることができるよう、よく工夫されている。大きく明示されている手本の脇にも書き方のポイントが織り込まれているなど、工夫されている。 ・書く時の姿勢と筆記具の持ち方及び字形の整え方や点画の種類が、写真やイラストを用い5ページにわたって、わかりやすく説明されている。また、全体的に手本が大きく大変見やすく、手本に鉛筆や筆でなぞりながら学べるなど、基礎・基本を身に付けることができるように配慮されている。 ・3年生では、身の回りの多様な文字を通して文字文化の豊かさに触れ、用途に合わせて文字を使い分けることに重きを置いた構成がなされており、1・2年生で身に付けた知識や技能を生活の中で生かすという発展性においてもよく配慮されている。 ・学習過程において、「やってみよう」「考えよう」が必ず位置付けられており、楷書と行書を比較をすることで得た疑問や発見に基づいて、より美しい文字を書こうとする意欲する。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	をもって学習できるように工夫されている。
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	 「全国文字マップ」、「デザインと文字」でのUDフォント(美術)、都道府県名の練習(社会)、壁新聞づくり(総合)等、他教科との関連が図られるよう配慮されている。また、身近な文字文化について、コラム「文字の歴史を探る」「物語を千年書き継ぐ」や巻末の「なりきり、書生・王羲之」において、伝統的な文字文化についてわかりやすく掲載されている。 「行書を活用しよう」では、行書を活用したノート(国語)や本の帯(国語)の作成がよく整理されて掲載されている。 「日常に役立つ書式」では手紙の書き方、はがきの書き方、入学願書の書き方、送り状の書き方、原稿用紙の使い方、が掲載されており、書写の学習で身に付けた知識や技能を日常生活で活用することができるようによく配慮されている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	 ・見開きのページで指導内容が示されている。手本は別ページに見開きの実寸で示されている。①右のページ「考えよう」で課題を確かめる②左のページ「確かめよう」で毛筆で練習する③「生かそう」で学習したことを硬筆で書くという学習の流れが明確であり、指導しやすいようによく工夫されている。 ・教材ごとに二次元コードが付けられており、デジタル教材で生徒自身が確認しながら学習を進められるようによく配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	 ・開きやすく丈夫なB5サイズ中綴じの製本になっており、見開きで使用する毛筆学習に適している。表面は撥水加工がされており、毛筆の使用に耐える装丁になっている。 ・1ページの中での色数を少なくしたり、余白を多く取ったりすることで、視覚的な刺激を少なくし、見やすい紙面になるようによく配慮されている。

【種目】地理

【発行者】 4 者

- 2 東京書籍
- 17 教育出版
- 46 帝国書院
- 116 日本文教出版

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	・単元の導入部において、活用する「見方・考え方」が示されている。「見方・考え方」を働かせるコーナーが位置付けられ、学習を深められるよう工夫されている。 ・本編は3編で見開き2ページ1単位時間の構成されており、計109時間配当されている。 導入資料→学習課題→本文・資料からの追究→コラムでの深め→「チェック&トライ」による課題解決の流れで構成され、社会科の基本的な学び方を生かし、確実な学習内容の定着が図れるよう工夫されている。 ・「スキルアップ」コーナーが系統立てて設定され、基礎的な知識や技能が確実に習得できるよう配慮されている。 ・学習の終末に「基礎・基本のまとめ」「まとめの活動」や適宜位置づけられている。 ・「みんなでチャレンジ」コーナーでは、少人数での参加型対話的学習が設定されており、学んだことを確認したり、思考を整理したり表現したりできるよう工夫されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を い、個性をとの協 働を促すととも に、生徒の学習よ でですること でであること でであること でであること でであること	 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」の各単元において、単元全体を見通すことができる探究課題が設定されている。 ・「地理にアクセス」のコーナーで、SDGsに関する取り組みなどが項目を明示して紹介されている。また、その見開きページにおいて学習内容に関連することが紹介されており、学びを深められるよう工夫されている。 ・「チェック&トライ」が位置づけられ、「チェック」で基礎・基本的な内容を確認し、「トライ」で学習課題に対するまとめに取り組めるよう配慮されている。 ・ICT機器を活用して利用できるコンテンツを用意し、該当箇所には「Dマーク」を付すこ
領に示された各教科の配慮事項にかかわること	とで、学習への興味・関心を高める工夫がされている。 ・インターネットや図書館、郷土資料館などを活用した調査方法を紹介して学習内容が広がるよう工夫されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 毎時間の学習課題が必ず設定されており、第一時終了後、探求課題(単元の課題)を設定する場が位置付けられている。 「資料から発見!」コーナーにおいて、比較・関連させながら考える場が設定されており、思考が深められるよう十分配慮されている。 「日本の諸地域」の単元の終末や「身近な地域」の単元で、地域の課題やこれからの身近な地域について考える学習が位置付けられている。
5 印刷・製本にかか わること	 ・296ページ、厚さ1cm、重さ575グラムである。一つ一つの資料が大きくてよくわかりやすい。 ・目次に「この教科書の使い方と学び方」があり、教科書の写真資料をもとにわかりやすく説明されている。

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 基礎的・基本では、これの・基本では、これの	・巻頭の「地理の学習を始めるにあたって」の中で、「地理的な見方・考え方」のコーナーが設定され、「地理的な見方・考え方」の視点や方法を示されている。また、キャラクターの吹き出しを位置づけて、問いかけにより視点や考え方が示されている。 ・学習の最後に学んだことを整理する「確認」コーナーが位置付けられ、また「表現」コーナーが併記されており、学んだことが確実に定着・活用がされるよう工夫されている。 ・「地理の技」コーナーが設定され、基礎的な地理的技能が段階的に身につけられるよう工夫されている。また、見開き下部には、関連分野のページが記載されている。 ・本編は3編で見開き2ページ1単位時間で構成され、計115時間配当されている。導入資料→学習課題→本文・資料から追究→「読み解こう」での深め→確認/表現で課題解決、の流れで学習内容の定着が図られるよう構成されている。 ・単元の終末では、「学習のまとめと表現」において、基礎的な内容の確認と、理由についてのまとめや意見交換などを表現する問いが設定されている。
2 主体的に学習に 取り組む態を生か 働を促すととの 働を促すととも に、生徒の学習よ で確立すること	・「地理の窓」のコーナーが設けられており、興味・関心が高められるよう工夫されている。
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 ・各章・節の扉ページに「まなびリンク」が位置づけられ、二次元コードを用いて省庁などの公的機関のサイトが閲覧できるようになっており、さまざまな情報を得ることができるよう工夫されている。 ・参考文献や統計資料、インターネット情報などを活用して調査する方法が示されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 「面積や人口に着目して」と具体的な学習課題が設定され、「確認」で課題解決のヒントが示されており、まとめやすくなるよう工夫されている。 ・領土の学習では、南東を上にした日本地図が示され、違った角度から領土を考えられるよう工夫されている。 ・「地域調査の方法を学ぼう」や「地域のあり方」の単元で、地域の課題やこれからの身近な地域について考える学習が位置付けられている。
5 印刷・製本にかか わること	・295ページ、厚さ1.1cm、重さ597グラムである。豊富な資料で構成され、人物の吹き出しなどで視覚的な配慮がされている。 ・目次に「地理の学習を始めるにあたって」があり、小学校の社会科学習から中学校への移行が記載されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、 まままでは、 まままでは、 まままでは、 ままままままままままままままま	・本編は3編で見開き2ページ1単位時間で構成されており、103 時間配当されている。 導入資料→学習課題→「見方・考え方」に基づいた本文・資料からの追究→「深めよう」 での深め→確認での言語活動、の流れで学習内容の定着が図られるよう構成されている。 ・学習課題と「見方・考え方」が併記して示されおり、手がかりとなる「見方・考え方」 を例示することで、見通しをもって追究できるよう工夫されている。また、「スキルUP」 コーナーにおいて、適宜、基礎的な技能の習得が図れるようにしている。 ・「地理+α」のコーナーで、歴史的分野・公民的分野と関連させやすいような話題が取り 上げられている。導入ページに小学校との関連について示されている。 ・「アクティビティ」「チャレンジ地理」コーナーが設定され、学習した内容について考え たり、話し合ったりするような対話的な活動が位置付けられている。 ・「深めよう」が設定され、さらに思考力・判断力・表現力を向上させるよう工夫されている。 る。
2 主体的に学習に 取り組む態度を い、個性を をとの協 働を促すととも に、生徒の学るよ に、生徒すること 配慮すること	・各単元終末に「自由研究」において、各地域に関わる話題が紹介され、学習内容に興味・関心が高められるよう工夫されている。・「地理+α」のコーナーにおいて学習内容に関する事例が紹介され、理解が深められよう工夫されている。
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 ・デジタルマークが位置づけられ、動画教材などウェブ上のデジタル資料が用意され、学習を深めることができるよう配慮されている。 ・地図の活用やコンピュータ等の情報手段の活用について示されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・一単位時間の学習課題が設定されており、毎時間、学習課題の下に「見方・考え方」で課題解決のヒントが示されており、見通しをもった学習ができるよう工夫されている。 ・「深めよう」のコーナーが位置付けられ、思考を深める問いとして活用できる。 ・「地域調査の手法」や「地域のあり方」の単元で、地域の課題やこれからの身近な地域について考える学習がよく位置付けられている。
5 印刷・製本にかか わること	 ・287ページ、厚さ1cm、重さ566グラムである。一つ一つの資料が大きくてわかりやすい。 ・目次に「地理との出会い」が位置づけられ、視点ごとに地理的な見方・考え方が分かりやすく示されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、 本様には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	・巻頭の「地理的見方・考え方について」で、「地理的な見方・考え方」が端的にわかるよう具体例が示されている。また、「技能をみがく」コーナーが適宜位置づけられ、「地理的な見方・考え方」を働かせるうえでの基礎的な技能が習得できるよう工夫されている。 ・本編は4部で見開き2ページ1単位時間で紙面が構成されており、計108時間配当されている。導入資料→学習課題→本文・資料からの追究→コラムでの深め→確認しよう/説明しようで、確認と言語活動、の流れで学習内容の定着が図られるよう構成されている。 ・世界及び日本の諸地域の単元冒頭に、「序説」として、学習の進め方やテーマ、視点が示されており、見通しをもって学習を進められるよう工夫されている。 ・学習の終わりには、「確認しよう」「説明しよう」が位置づけられ、学習内容の確かな定着と自分なりに判断・表現する問いが設定されている。 ・節の終わりに「振り返ろう」コーナーが位置付けられ、基礎的な内容の確認やまとめ、持続可能な社会に向けて考える対話的な活動が設定されている。
2 主りの様をは、	・「未来に向けて」や「地域の在り方を考える」のコラムにおいて、SDGsに関わる取り組
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・一単位時間の学習課題や「章の問い」(単元の課題)が位置付けられ、「確認」で課題解決のヒントが示されている。 ・「解説」コーナーが設けられ、かんがい設備や永久凍土などの用語説明が本文に即して記載されている。 ・コラム「未来に向けて」が25カ所設置され、持続可能な社会をつくるための取組が位置付けられ、主体的に参画について考えられるよう工夫されている。
5 印刷・製本にかか わること	 ・300ページ、厚さ1cm、重さ591グラムである。ふりがなも多く、読みやすい配慮がされている。 ・目次に「この教科書の学習のしかた」が位置づけられ、教科書の写真資料をもとに、わかりやすく説明されている。

【種目】 歴史

【発行者】 7 者

- 2 東京書籍
- 17 教育出版
- 46 帝国書院
- 81 山川出版社
- 116 日本文教出版
- 227 育鵬社
- (229 学び舎 見本なし)

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本をせしすなおといるというでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	 ・各章の導入において、小学校で学習した人物や文化財をイラストで示した年表が掲載されており、小学校での学習と関連付けて課題をとらえやすくするよう工夫されている。 ・1時間の学習課題を解決する「チェック&トライ」が設けられ、基礎的・基本的な知識を確認する「チェック」と要約や説明をする言語活動の「トライ」の2段階で学習内容が確実に定着するよう配慮されている。 ・「スキル・アップ」のコーナーが設けられており、「文献資料を読み解こう」や「系図を読み取ろう」、などのテーマが設定され歴史を学ぶ上で有効となる、基礎的・基本的な技能を身に付けられるよう十分配慮されている。
2 主りの様をは、がは、	 単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」から、単位時間の導入資料が掲載されており、学習意欲の喚起につながる。 教科書の文章を補完する資料が大きく示されており、学習内容をより理解しやすいよう配慮されている。 歴史学習の基礎的・基本的な技能を身に付けられる「スキル・アップ」のコーナーが設けられ、「集める」「読み取る」「まとめる」という3つの視点で示されており、家庭学習においてもより興味をもって調べられるよう工夫されている。 デジタルコンテンツを活用することができ、幅広く学習をすることができるよう配慮されている。 アイヌや琉球の文化や歴史を通史だけでなく、「もっと歴史」のコーナーにおいて詳しく示されており、多文化共生の視点を持つことができるよう工夫されている。
4 東濃地区の 教員及び見童の 実態を踏まえた 教育のこと 5 印刷・製本にかか わること	 ・教科書の構成や使い方と学び方が位置付けられ、学び方を身に付けられるよう十分配慮されている。 ・章末の活動において、様々な思考ツールが示され、時代を大観させるよう工夫されている。また、思考するための方法を学ぶことができるよう配慮されている。 ・本文中に既習事項のページ番号や資料番号、見方・考え方が記されており、既習事項と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。 ・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色を用いている。 ・立体感のある表現等を省いたデザインが用いられ、見出しは色枠囲みでゴシック体の白字を使用している。本文行数は基本的に20行以内に収められている。 ・用語解説、人名索引、事項索引が掲載されている。

発行者【17 教育出版】

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・歴史の見方・考え方について事例を示しながら解説されており、「歴史の技」として資料活用の方法やまとめ方が分かりやすく示されている。 ・「確認」と「表現」のコーナーが設けられ、学習の振り返りや基礎的な内容を活用して表現する活動が示され、表現力等の向上を図ろうとしている。また、「読み解こう」や「Q」のコーナーが適宜設けられ、地図・グラフ・絵・図解などの資料を読み取って考察できるよう工夫されている。 ・歴史学習の進め方や資料活用の技能について丁寧に解説されている。その中で小学校の歴史学習で活用した見方・考え方とのつながりが示され、中学校の学習へのスムーズな移行が図られている。
2 主体的に学習に取り組む態度生かのは多様なすととのはなすととでいる。 生徒の学るよに、 生徒のすると間でであること	 ・各章の始めに「学習を始めよう」が設けられ、学習する時代を象徴するイラストや写真が大きく掲載され、学習の見通しや単元を貫く課題の設定につなげられるよう工夫されている。また、単位時間の導入資料が掲載されており、興味・関心が高められるよう工夫されている。視点を変えて捉えなおす「歴史の窓」が位置づけられ、多面的・多角的に社会的事象をとらえられるよう工夫されている。 ・持続可能な社会の実現に向けた視点からテーマ設定をした学習が示されている。 ・「学びのリンク」が位置づけられており、家庭学習においてICTを活用してさまざまな情報が見られるよう配慮されている。
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 ・ICTを活用した「学びのリンク」や「身近な地域の歴史を調べよう」が設けられ、自分たちと歴史のつながりを意識できる工夫や多様な伝統文化やそれらを伝える人たちの営みが示されている。 ・アイヌや琉球の歴史的な歩みや人々の暮らしと結びついた伝統・文化の多様性やその継承という観点から理解ができるよう工夫されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・教科書の構成や使い方と学び方の説明が位置付けられ、生徒が学び方を身に付けられるよう工夫されている。 ・章末の活動において、年表や表によるまとめが位置づけられ、時代を大観させるよう工夫されている。また、時代の特色のまとめ方が示されており、思考の方法を学ぶことができるよう工夫されている。 ・本文中に資料番号が記されており、掲載資料と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	 ・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色を用いている。 ・グラフ資料等の破線等の縮減がなされ、見出しの帯はゴシック体の黒字で表記されている。 本文行数は基本的に20行以内に収められている。 ・人名索引、事項索引が掲載されている。

発行者【46 帝国書院】

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・章の初めに「タイムトラベル」を位置づけ、時代を象徴するイラストと小学校で学習した主な出来事や人物が年表に示され、小学校の学習との関連が図られている。 ・「技能をみがく」コーナーが設けられており、「年代や時代を結びつける」や「絵巻物の見方」、「当時の立場になって選択し、判断する」等の歴史学習の基礎的技能が習得できるよう工夫されている。 ・1単位時間のまとめとして「説明しよう」のコーナーが設けられ、「なぜ~なのか。」という問いが示されており、学習内容を振り返り、習得した知識を活用した言語活動につなげられるよう工夫されている。
2 主体的に学習に 取り個性をとの 働を促すととも に、生徒のすると に、確立すること でであること	 ・各章と各節に問いが設定され、単位時間毎、学習課題を生み出すための導入資料が示されており、章・節を通して主体的な学びができるよう工夫されている。 ・各章ごとに「タイムトラベル」が設定され、大きなイラストを読み解く活動を通して、前の時代と比較したり、疑問点を発見したりして、興味・関心を高められるよう工夫されている。 ・章・節に「振り返り」のコーナーを位置づけ、本文を抜き出す「確認しよう」と「説明しよう」を設けており、学習の振り返りができるよう十分配慮されている。
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・当時の社会の様子を掘り下げる「歴史を探ろう」が設けられており、日本の伝統や文化の背景について、理解を深められるよう工夫されている。・琉球やアイヌの衣服や生活、他地域とのかかわりについて示され、琉球やアイヌの独自の文化について理解しやすいよう配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・教科書の構成や使い方と学び方の説明が位置付けられ、生徒が学び方を身に付けられるよう工夫されている。 ・章末の活動において、年表と見方・考え方を使った説明が位置づけられ、学習のまとめ方が身に付けてられるようよく配慮されている。 ・本文中に単元の導入ページの資料番号が記されており、つながりを持って学ぶことができるよう工夫されている。
5 印刷・製本にかか わること	・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色を用いている。・グラフ資料等の破線等が縮減され、見出しは、色枠囲みでゴシック体の黒字で記されている。本文行数は基本的に20行以内に収められている。・人物索引、事項索引が掲載されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・「○世紀の世界」を設けて、各時代の世界の様子を地図とイラストで示され、同時代の日本と世界を大観できるよう工夫されている。 ・写真・風刺画・グラフ・法令等の資料に吹き出しが設けられ、「どのようなことが読み取れるか?」や「なぜ起きたのか?なんのためにおこったのか?」等の問いが示されており、関連付けて学べるよう工夫されている。 ・「歴史を考えよう」のコーナーが設定され、美術品や史料・地図等を取り上げて、「なぜ~だろうか。」の問いを示し、それまでに学習した内容を活用しながらまとめたり、発表したりする言語活動につなげられるよう工夫されている。
2 主体的に学をを りに関係を はの を はの を を 生 を 生 を 生 を 生 を と と き で で で で で で で で で で で で で で で る で る で	道究ができるよう配慮されている。 ・美術作品や地域の歴史を様々な角度から考えることができるよう資料が提示され、興味・
教科の配慮事項 にかかわること 4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた	 が示されている。 ・「歴史へのアプローチ」が設けられており、琉球の歴史と文化やアイヌ民族の歴史と文化について古代から現代までを通して学べるよう配慮されている。 ・教科書の使い方と学び方の解説が位置付けられ、生徒が学び方を身に付けられるよう工夫されている。 ・章末の活動では、図や表によるまとめ方がわかりやすく示されている。
教育の充実に関すること 5 印刷・製本にかか わること	・本文中に資料番号が記されており、掲載資料と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色を用いている。
	・人名索引、事項索引が掲載されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、これでは、これのでは、こ	 「私たちと歴史」のコーナーで、小学校で学習した人物や文化財が、イラストで示されており、「歴史的な見方・考え方」を例示しながら、歴史の流れを大観できるよう工夫されている。 ・本文下段に「連携コーナー」を位置づけ、小学校での学習や地理、公民と関連付けて学べるよう工夫されている。 ・「学習の整理と活用」のコーナーが設けられ、年表と地図を使って学習を整理できるよう工夫されている。「アクティビティ」が設けられ、習得した知識を関連させて時代の特色をとらえられるよう配慮されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度をを い、個性を生かは 多様な人々ととの協 働を促すととも に、生徒の学習習 慣が確立するよう	 ・章の初めに見開きで日本の様子が示され、「地図で見る世界の動き」が位置付けられている。時代のイメージや世界史的な視点から大観できるよう工夫されている。また、単位時間毎に学習課題が設定されており、生徒が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 ・「深めよう」が位置づけられ、見方・考え方を働かせる問いが示されている。家庭での学習においても学習を深められるよう工夫されている。
配慮すること	・「歴史を掘り下げる」、「先人に学ぶ」のコーナーが設けられ、地域や先人の知恵などが示され、発展的な学びにつながるよう工夫されている。
3 学習指導要 領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・「スキルアップ」コーナーが設けられ、情報を「収集する」、「読み取る」、「まとめる」ポイントや博物館や史跡の見方、見学の仕方が示されている。
	・琉球やアイヌの衣服や生活,文化等について示されおり、琉球やアイヌの人々の暮らし の営みが理解しやすいよう配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・教科書の構成と使い方と学び方が位置付けられ、生徒が学び方を身に付けられるよう工夫されている。 ・章末の活動において、年表と表にまとめるレイアウトが統一されており、学習のまとめ方が身に付けてられるよう配慮されている。 ・本文中に資料番号や見方・考え方が記されており、掲載資料と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色が用いられている。 ・色に頼らないグラフを掲載し、見出しは、色なし帯にゴシック体の黒字で記している。 本文行数は基本的に20行以内に収められている。 ・歴史学習の基礎資料、人名索引、事項索引が掲載されている。

発行者【227 育鵬社】

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・1単位時間毎に「学習のまとめ」コーナーが設けられ、学習内容を説明する表現活動が 位置付けられ、習得した知識が定着するよう工夫されている。 ・「歴史のターニングポイント」を設け、様々な視点から理解が深められるよう工夫されている。「『私の歴史博物館』をデザインしてみよう」のコーナーを位置づけ、時代の特色をまとめる活動が工夫されている。 ・「鉛筆マーク」によって毎時間のまとめ方が示され、学習内容を自分の言葉でまとめるだけでなく、歴史的事象の意味、意義を解釈したり、事象間の関連を説明させたりするような言語活動に取り組めるよう配慮されている。
2 主体的に学習に 取り個性を を りを を は を は を を と と で で で で で で と で で と で で と で で る と で で の は の に の に の に の に り に り に り る と ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	・章の初めに資料が大きく提示され、興味・関心を高められるよう配慮されている。「歴史 ズームイン」「人物クローズアップ」のコーナーが位置付けられ、興味や関心が広げられ
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	・「歴史ズームイン」を位置付け、図書館の利用の仕方や調べ方、博物館や資料館を利用した学び方が示されている。・「なでしこ日本史」を位置づけ、多くの女性の活躍を紹介されている。また、琉球やアイヌの交易や文化について理解が深められるように配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・教科書の使い方の解説が位置づけられ、生徒が学び方を身に付けられるよう工夫されている。 ・章末の活動において、「歴史のターニングポイント」、年表によるまとめが位置付けられ、学習のまとめ方が身に付けてられるよう工夫されている。 ・本文中に既習内容のページ番号や資料番号が記されており、既習事項と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色や形が用いられている。 ・見出しは、色枠囲みにゴシック体の黒字で記され、本文行数は基本的に20行以内に収められている。 ・人名索引、事項索引が掲載されている。

【種目】 公民

【発行者】 6 者

- 2 東京書籍
- 17 教育出版
- 46 帝国書院
- 116 日本文教出版
- 225 自由社
- 227 育鵬社

種 目【公民】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・学習に必要な様々な資料とともに、課題解決に必要で有効な手法が多数紹介されており、知識や技能の習得に配慮して構成されている。 ・巻頭「持続可能な社会の実現に向けて」で10の視点を設定し、その視点が各章や節に位置付けられ、教科書全体がその視点に基づいた構成になっている。 ・終章では、今日的な課題を取り上げ、これまでの章での学習を通して身に付けた知識や技能を生かして自分の提案をまとめる活動が位置付けられている。 ・章末の自分の考えをまとめたり、発表・議論したりする「まとめの活動」は、単元入り口の活動とよく対応されており、問いを軸に単元を通して「思考力、判断力、表現力」が身に付けられるよう工夫がされている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を い、個性を生かの 多様な人々ととの 働を促すととも に、生徒の学習習 間が確すること	・「導入の活動」や「みんなでナヤレンシ」が位置づけられ、主体的で対話的な学習を進められる工夫がなされている。 ・『チェック&トライ』で、そのページで学習したことを確認したり表現したりする内容
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・具体的な活動を通して、情報モラルやメディアリテラシーについて学べるように配慮されている。・新聞資料を豊富に取り上げ、生徒が学習内容を身近に感じられるよう工夫されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・各章では、「導入・展開・まとめ」といった単元を通しての学習の流れを把握することができるよう構成されている。導入の活動と関連させたまとめの活動が取り入れられ、単元を通して評価をしやすいよう配慮されている。 ・各章の単元を貫く「探究課題」に基づく、一単位時間の学習課題が各ページに示されている。一単位時間の授業を通して、段階的に「探究課題」の解決につながる学習指導が行えるよう配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・紙面や図版などにはカラーユニバーサルデザインを採用し、全ての生徒の色覚特性に適応するよう工夫されている。・本文を補う資料や用語解説を多く掲載するなど、学習内容を理解しやすいよう配慮されている。

発行者【17 教育出版】

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、 はいのでは、	 ・学習内容に関連する人物を取り上げる「クリップ」や「公民の窓」というコラムを設けられ、理解を深める工夫や、学習内容を身近に感じさせるよう工夫されている。 ・巻頭でSDGsを紹介するとともに、各章においては関連するSDGsの項目がマークで明示され、つながりを意識した構成がされている。 ・設定された課題に対して、話し合いやディベート、ランキングなどの活動が位置づけられた「公民の技」のページやコーナーが、教科書全体で10配置されている。 ・章の入り口に「学習のはじめに」を位置づけ学習への見通しをもたせる工夫がされている。章末の「学習のまとめと表現」を3段階で設定し、自分の考えをまとめさせたり、説明させたりする作業を入れることで生徒相互の対話が生まれ、主体的で対話的な学びにつながる工夫がされている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を養 い、個性を生の協 働を促すととも に、生徒の学習習 間慮すること	・各章の始めに漫画や写真、資料等が学習意欲を喚起すると共に、章の学習に見通しをもって取り組めるよう配慮されている。 ・今日的な話題から「学習課題」を設定したり、資料の着眼点や考えづくりのヒントを示
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・具体的な活動や事例を通して、メディアリテラシーが養われるよう配慮されている。・情報の有効活用について理解を深めると共に、生徒が自ら調べ学んでいけるように配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・各章の始めに、その章に関わる具体的な事例や資料を読み取る学習活動が示され、生徒が単元を貫く課題をもち、見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。学習のまとめを3段階で位置付け、次章への準備ができるように十分配慮されている。 ・各ページには、本時学習した内容を確認する「確認」と「表現」のコーナーを設け、一単位時間に学習した内容の基礎・基本の定着を見届けることができるよう配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・図やグラフなどには、カラーユニバーサルデザインを採用し、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいよう配慮されている。・文字や図版など資料の印刷が鮮明である。特に、写真の発色がきれいで、統計資料も読み取りやすいよう配慮されている。

種 目【公民】 発行者【46 帝国書院】

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、主には、一般では、これのでは、一般では、これのでは、一般では、これのでは、一般では、これので	 ・現代社会における二項対立を取り上げ、多面的・多角的な考察ができる特設ページ「YesNo」が位置付けられている。 ・巻頭「公民的分野の学習の全体像を見通そう」では、小学校社会や地理的分野、歴史的分野とのつながりが示され、働かせる見方・考え方からの視点を位置付けて教科書が構成されている。 ・最終章に「課題の探究」が位置づけられ、レポート作成の技能を習得するとともに、今日的な課題の解決を提案する学習が位置付けられている。 ・章の出口「章の学習を振り返ろう」では、「見方考え方を働かせて考えよう」が位置付けられ、ワークシートを提示し、自分の考えを整理することや、意見交換をさせる活動が指示され、主体的で対話的な学びにつながるよう工夫されている。
2 主体的に学習に取りに学習を知り、個性を生めのは多様に、生徒のはままなのはもい。 はい	・現代社会で議論されているテーマや起こりうる事例か示されており、主体的で対話的な 学習を進められるよう工夫されている。 ・学習内容を実社会で生かしたり、関連した取組を行ったりしている人のインタビューを
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 私たちの暮らしと民主政治のメディアリテラシーを学ぶ場では、入手した情報を活用する際の留意点や課題について考えられるよう配慮されている。 「技能をみがく」では"新聞の特徴や活用法"や"裁判傍聴の仕方"等が紹介されており、生徒が進んで調べ学習に取り組めるよう配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 現代社会、政治、経済、国際という四つの部のそれぞれを、章、節、見開きという三段階で構成し、それぞれに問いと振り返り学習を設けている。深い学びを実現するために、見通しと振り返り学習を積み重ねてできるよう配慮されている。 ・各ページには、学習課題に対する「確認しよう」「説明しよう」のコーナーが設けられている。「確認しよう」では知識の確実な習得、「説明しよう」では、思考力、判断力、表現力の育成を促している。
5 印刷・製本にかか わること	・特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、グラフなどにはすべての生徒が等しく情報を読み取ることができるよう配慮されている。・各単元で基本色となる「単元カラー」を設定し、インデックスで色遣いを統一するなど、見やすいよう配慮されている。

調査項目 意 見 1 ・学習内容について、より掘り下げた事例をとりあげた「公民 $+\alpha$ 」のコーナーが位置づ 基礎的•基本的 けられ、学習内容に対する理解を深められるよう工夫されている。 な知識及び技能 ・巻頭に地理的分野と歴史的分野とのつながりが示されており、これまでの学習とのつな を確実に習得さ がりを意識させるよう工夫されている。 せ、これらを活用 ・身近な問題が取り上げられ、問題解決に向けた手順や、自分の考えを構築したりするた して課題を解決 するために必要 めの技能を学ぶ「明日に向かって」が位置付けられている。 な思考力、判断 ・章の出口に、章に関わる社会の課題について考察する「チャレンジ公民」が設けられ、 力、表現力等を育 話し合いや意思決定を位置付けることで生徒相互の対話が生まれ、主体的で対話的な学 むこと びにつながるよう工夫されている。 2 ・より身近で考えやすい学習課題を設定したり、調査の仕方や多種多様なシンキングツー 主体的に学習 ルを紹介したりと、主体的な学びを促すよう工夫されている。 に取り組む態度 ・考えづくりのヒントや資料の着眼点が示されおり、課題解決に向けて見通しがもてるよ を養い、個性を生 う配慮されている。 かし多様な人々 ・学習内容と関連する内容を示した「公民+α」というコラムが位置づけられ、学習内容 との協働を促す がより深く理解できるよう工夫されている。 とともに、生徒の 学習習慣が確立 ・1 単位時間の『確認』や、章末の『学習の整理と活用』が設けられ、生徒が自主的に学 するよう配慮す 習できるよう配慮されている。 ること 3 学習指導要 ・「情報スキルアップ」が位置づけられ、情報リテラシーや情報モラル、メディアリテラ 領に示された各 シーについて学べるよう配慮されている。 教科の配慮事項 新聞資料を豊富に取り上げるだけでなく、学習内容を現代社会で起きている諸課題と結 にかかわること びつけながら考えられるよう工夫されている。 4 東濃地区の ・各章末には、「学習の整理と活用」のコーナーが設けられている。「学習の内容と語句の 教員及び児童の 整理」「ニュースを見方・考え方から見てみよう」といった学習活動を通して、学習内容 実態を踏まえた を定着させたり、学んだことを活用したりすることができるよう配慮されている。 教育の充実に関 ・各ページには、生徒がこの見開きで何を学んでいくのかが分かるように、一単位時間の すること 学習課題が位置付けられている。また、「見方・考え方」の例が示され、学習課題の解決 に向けて手がかりになるよう配慮されている。 ・特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、グラフなどにはすべての生徒が等し 印刷・製本にかか く情報を読み取ることができるよう配慮されている。 わること ・各単元で基本色となる「単元カラー」を設定し、インデックスで色遣いを統一するなど、 見やすいよう配慮されている。

種 目【公民】 発行者【225 自由社】

調査項目	意見
1 基礎的・基本ではしずなり・基本では、ここのでは、これのでは、これのでは、これのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	 ・「もっと知りたい」のページや、「ミニ知識」のコーナーが位置づけられ、学習内容への理解を深めるよう工夫されている。 ・章の出口には「学習のまとめ」と「学習の発展」とが位置付けられており、それぞれを通して基礎的・発展的に章を振り返ることができるよう工夫されている。 ・終章の「課題の探求」では、今日的な課題の解決に向けたレポート作成をする中で、作成に必要な技能を習得したり、ディベートを通して議論の仕方を学習したりする項目が位置付けられている。 ・「アクティブに深めよう」では、今日的な課題を提示し、ワークシートに考えをまとめたり、発表したりすることで、生徒相互の対話が生まれ主体的で対話的な学びにつながるよう工夫されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を の機 を は を 生 と と と は で と と で で と と で で で と と で で で で	「ミニ知識」や「もっと知りたい」というコラムが設けられ、学習内容がより深く理解できるよう工夫されている。各項に課題が設定され見通しをもって学習に取り組めるようになっている。また、「こ
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・ 新聞を読み比べるページが設けられており、実際に各社の新聞を読み比べがでることで、新聞社によって報じ方に違いがあることを実感できるように配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・各ページには、一単位時間の学習課題が位置付けられ、生徒が見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。また、「やってみよう」のコーナーが設けられ、視点を明らかにした追究活動を通して見方・考え方を働かせる問いを示している。 ・各章末には、「学習のまとめと発展」のコーナーを設け、最重要語句を確認したり、学習した内容について自分の考えをまとめたりする学習が行えるよう工夫されている。
5 印刷・製本にかか わること	・写真などの資料を大きく掲載したり、各ページの資料名について黒字のゴシック体を使用したりするなど、生徒が資料を読みやすいよう配慮されている。・巻末に「現代日本の歩み」を掲載し、歴史的分野との関連を図り、生徒の学習の理解を深められるよう工夫されている。

種 目【公民】

発行者【227 育鵬社】

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	 ・学習内容に関連する具体的な事例を取り上げた「学習を深めよう」のコーナーが位置づけられ、学習内容に対する理解を深められるよう工夫されている。 ・巻頭に「地理・歴史・公民の概念図」において地理的分野と歴史的分野とのつながりが示され、公民的分野を学ぶ意味を意識づけるよう構成が工夫されている。 ・話し合いやディベート、シミュレーションなどの活動を位置づけた「やってみよう」が章ごとに複数配置されている。 ・学習のまとめとともに、章で学習した内容に関する「これから」を考えさせるページが設けられ、議論したり発表したりする活動が示めされており、主体的で対話的な学びにつながるよう工夫されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を動 い、個性を生かし 多様なすととの協 働を促するとも に、生徒の学習習 間が確立すること	「学習を深めよう」では、コラムや更なる課題が提示されており、学習内容がより深く 理解できるよう工夫されている。・本文の学習に関連して、個人や班で取り組める作業や活動が示され、生徒が主体的に学
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・自分の地域のことを知るために、郷土資料館や役所に問い合わせることやウェブサイトを検索することが課題として示され、生徒が進んで調べ学習に取り組めるよう工夫されている。・資料として新聞記事が多数掲載され、学習内容が社会で起きている出来事と結びついていることに気づけるよう工夫されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・各章の導入と終末には、その章で学ぶことを自らの課題として考えるための「学習の入口」「これから(学習のまとめ)」が位置付けられ、問題意識をもって意欲的に毎時間の学習に取り組めるよう配慮されている。 ・各ページの見開きの冒頭には、複数の導入資料や一単位時間の学習課題が示され、生徒が「何を学ぶのか」を明確にして、見通しをもちながら学習を進めることができるよう配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいよう配慮されている。・色覚特性を踏まえて判別しすい図版の色を使用したり、写真などの資料を大きく掲載したりするなど、生徒が資料を読み取りやすいよう配慮されている。

【種目】 地図

【発行者】 2 者

- 2 東京書籍
- 46 帝国書院

種 目【地図】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本をは、こまでは、こまたのでは、こまたのでは、まままでは、まままままままままままままままままままままままままままままま	 ・「世界のページ」「日本のページ」「統計、さくいん」で構成されており、教科書と併せて活用できるよう配置が工夫されている。 ・キャラクターの吹き出しが位置付けられ、資料のポイントや「見方・考え方」が示され、資料を読み取とったり、学びを深めたりできるよう工夫されている。 ・「ジャンプ」のマークが設定されており、地図と統計資料を関連させたり、資料を比較させたりして追究できるよう工夫されている。 ・歴史的分野、公民的な分野についての特設ページが設定されており、各諸地域と関連させて追求できるよう工夫されている。
2 主体的に学習に を養いとと 生かとと 生徒の 生徒の 生徒の 生徒の 生徒の 生徒の する で を を は は は は は は は は は は は は は は は は は	 ・各ページでキャラクターの吹き出しが位置付けられ、問いかけにより「地理的な見方・考え方」を働かせられるようよう工夫されている。 ・巻頭に「この地図の地図記号・活用方法」を設け、具体的な活用例が示されて地図帳の構成要素が解説されており、地図帳の活用方法が理解できるよう配慮されている。
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 ・巻頭、「SDGs (持続可能な開発目標)」を中心に8ページの特集ページが設けられており、現代的な諸課題について考えられるよう工夫されている。 ・自然災害の現状や傾向がわかる資料が示されており、防災・減災の意識を高められるよう工夫されている。 ・「Dマーク」が位置付けられ、閲覧できる web ページにリンクされており。ワークシート、白地図や関連情報を活用することができるよう配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	・「この図の範囲」のコーナーを設け、地球全体から見た地域を、よく俯瞰することができる。 ・「持続可能な開発目標 (GDGs)」や歴史的分野とのつながりなど関連する事柄がよく掲載されている。 ・世界における日本の国際協力や平和への取組について紹介することで、社会への関わり方について意識を高められるようになっている。
5 印刷・製本にかか わること	・187ページ, 厚さ1cm, 重さ564グラムである。一つ一つの資料が大きく掲載され

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・日本・世界の自然、産業、歴史など様々な情報が地図上に記され、空間認識を伴った幅広い知識が身につくよう工夫されている。また、世界の州が大きな鳥瞰図で記されており、興味・関心が高められるよう工夫されている。 ・「使い方・資料」、「世界」、「日本」、「統計」、「索引」で構成されており、おおむね教科書の構成に対応できるようよく配慮されている。歴史的分野・公民的分野の学習でも活用できるよう配慮されている。 ・環境問題の特設コーナーが設けられ、持続可能な開発目標についての関心が高められるよう配慮されている。また、災害、防災に関して、さまざま災害の種類や分布について示されている。 ・小学校の復習、地図の活用方法、読み取りの手順が示されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を生か の性を生の協 動を促すととも に、生徒の学習習 慣が確立するよう 配慮すること	 ・各ページの「地図活用」で資料や地図の活用方法、「地理的な見方や考え方」を働かせる問いが示されている。問いの量が多く、主体的な地図の活用を促すよう工夫されている。 ・地図帳の構成や方位、地図記号、索引の使い方など、地図帳の基本的な見方や使い方が巻頭の「地図帳の使い方」でわかりやすく解説されている。
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 ・環境を中心に、持続可能な開発目標(SDGs)の観点に基づいた資料が豊富に掲載されている。 ・「日本の自然災害・防災」のページが設けられて日本で起こりうる災害とそれらへの対策について理解が図られるよう配慮されている。 ・二次元コードで教材活用ができるようになっており、HPには動画や資料、クイズなど豊富なコンテンツがある。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・「地図活用」のコーナーが設けられ、思考を深める問いを十分活用することができる。 ・「この図の範囲」のコーナーが設けられ、地球全体から見た地域を俯瞰できるよう工夫されている。 ・防災学習では、身近な地域への防災意識をよく高められるよう工夫されている。 ・現在の社会が直面する課題について示され、社会の一員として社会への関わり方について興味・関心が高められるよう工夫されている。
5 印刷・製本にかか わること	 ・185ページ,暑さ0.8cm,重さ502グラムである。首都は黒,国名は赤で統一されていて、色鮮やかな中で配慮もされている。 ・南米は、ポルトガル語で表記されており、外国籍の生徒への配慮がされている。 ・さくいんの引き方が掲載され、大変使いやすいものになっている。

【種目】数学

【発行者】 7 者

- 2 東京書籍
- 4 大日本図書
- 11 学校図書
- 17 教育出版
- 61 新興出版社啓林館
- 104 数研出版
- 116 日本文教出版

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本的を設定をは、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、主には、このでは、主には、ののでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	 ・第3学年の「平方根」の単元では、導入で正方形の一辺の数に着目させ、「未知の数(無理数)」を探究する意欲をもたせるように工夫されている。電卓による近似値の探究活動から、根号の必要性や有用性を感じ、平方根の定義を身に付け、その上で、平方根の計算の仕組みを学ぶ配列となっている。平方根の利用では、具体物を例に挙げ、深い学びへとつながるように工夫されている。 ・章の導入では、当該の学習内容に関連する日常生活の中の事象や実験等の数学的活動を示し、学習意欲を高める配慮がされている。また、第1学年の「データの整理と分析」では、導入の事象を章末まで通して学習を進めるなど、よく構成されている。ほぼすべての章の利用の節で「深い学び」を位置付け、「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する(自分で考えよう→友達の考えを知ろう→話し合ってみよう)→ふり返る→深める」の過程で、自立的、協働的に解決できるようによく配慮されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を養 い、個性を生か協 働を促すととも に、生徒の学習習 慣が確立するよう 配慮すること	・ほぼすべての章で、身に付けた知識・技能をもとに解決する「利用」の節が位置付き、またその中で日常や学校生活につながる場面を素材として取り上げ、主体性を高めたり、学んだことをさらに深めたりすることができるようによく配慮されている。 ・「学びを広げよう」では、数学が実社会で活用されている例や数学と関わる仕事をしている人の思いを取り上げ、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感することができるようによく配慮されている。 ・小学校でつまずきの多い内容をいつでも確認できるよう、巻末に「算数の確認」が掲載されていたり、既習内容と学習した学年を振り返ることができるよう、本文に「ちょっと確認」が掲載されていたりするなど、家庭学習の手助けとなるように配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	 ・各学年巻頭のQRコードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツが、第1学年で25箇所、第2学年で16箇所、第3学年で11箇所、合計52箇所用意され、中でも他教科と関連のある題材は、コンテンツ内で他教科の教科書紙面を閲覧できる教科等横断的な視点を意識した構成がよく工夫されている。 ・第2学年の「三角形と四角形」の単元では、ロープ1本で直角をつくる体験を導入で扱うことで、二等辺三角形の性質に結びつけるなどよく工夫がされている。 ・巻末では「紙学習具」を位置付け、実際に操作・実験することで実感を伴った理解につなげるとともに、誤答が多い問題に対する丁寧な指導が行えるように配慮がされている。
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	 ・学習課題が毎時間設けてあり、授業の流れをイメージできるように構成されている。また、例と似た型の問題に◇記号が付けてあり、つまずいたときに立ち返る足場が示してある。例と同じ問題ということで、◇問題を評価問題とすることができるようによく工夫されている。 ・基本単位時間は、問題~例題~練習(問)~補充問題という流れになっている。反復練習をすることで、確実に知識や技能を習得できるように配慮されている。
5 印刷・製本にか かわること	・カラーUDを含む教科書の「ユニバーサルデザイン」を実現する配慮がよくされている。 ・目次では、前の学習とのつながりが示してあり、系統性を踏まえた指導がしやすいよう によく配慮されている。また、インデックスで章をもとにページを検索できる。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本では、ここのでは、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	・第3学年の「平方根」の単元では、導入で面積2の正方形の一辺の数に着目させ、「未知の数 (無理数)」を探究する意欲をもたせるだけでなく、その後の活動につながるように大変よく工夫されている。電卓による近似値の探究活動から、根号の必要性や有用性を感じ、平方根の定義を身に付け、その上で、平方根の計算の仕組みを学ぶ配列となっている。平方根の利用では、問題発見・問題解決の流れを意識させ、数学の学びを日常生活や社会に生かせるようによく工夫されている。また、「有効数字」、「循環小数と分数」など、平方根と関連付けてより深い学びにつながるように十分な配置がされている。・章の導入では、学年や学校生活を意識した日常生活の事象や実験等の数学的活動を示し、学習意欲を高めるなどよく配慮がされている。また、第1学年の「文字と式」や「1次方程式」では、導入の題材を利用で再度位置付けるなど、大変よく構成されている。すべての章の利用の節で、「問題を見いだそう→解決のしかたを探ろう→解決しよう(じっくり考えよう→考えを伝え合おう→分かりやすく説明しよう)→深めよう」の過程で、自立的、協働的に解決できるように大変よく配慮されている。
2 主体的に学習をいる機能を生みといる様にはないとというできません。 生徒のはいい はい	とをより深めることができるように十分配慮されている。また判断力を伸ばす問いが位置付いている。 ・「社会にリンク」「活用・探究」「MATHFUL」「付録」では、生活に生かされている数学
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	・各学年巻頭の QR コードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツが、第1学年で19箇所、第2学年で11箇所、第3学年で20箇所、合計50箇所用意され、中にはAR技術を用いたデジタルコンテンツもあり、紙面上のQRコードの数を減らして余白を確保できるようによく工夫されている。 ・第3学年の「2次方程式」の単元では、数当てゲームを導入で行うことで、完全平方の因数分解公式を利用した方程式の解き方に結びつけるなどよく工夫されている。 ・章末には「活用・探究」や「発見!仕事のなかの数学」が位置付けられており、本単元で学んだ内容が日常生活の中でどのように使われているか紹介されており、学習したことによって広がった世界を確認することができるように配慮されている。
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	・学習目標が内容のまとまりごとに「めあて」として示してある。配当時間の目安が口によって示されている。同じ考えで取り組む問題(Q)と例題とが対で位置付いているため、生徒自身で評価ができるように十分配慮されている。 ・基本単位時間は、問題~例題~たしかめ~練習(Q)~プラスワン~補充問題という流れになっている。「たしかめ」という例題と類似した問題を、例題と練習(Q)の間に入れることで、より確実に知識や技能を習得できるようによく配慮されている。
5 印刷・製本にか かわること	・UD フォントを使用。第1学年は他学年よりも1段階文字が大きくなっていて、生徒の発達段階に応じて、学習しやすいようによく配慮されている。 ・目次に、既習事項とのつながりが示してあり系統性を踏まえた指導がしやすいようによく配慮されている。また、インデックスで章と節をもとにページを検索できる。

発行者【11学校図書】

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・第3学年の「平方根」の単元では、導入で正方形の一辺の数に着目させ、「未知の数(無理数)」を探究する意欲をもたせるように工夫されている。電卓による近似値の探究活動から、根号の必要性や有用性を感じ、平方根の定義を身に付け、その上で、平方根の計算の仕組みを学ぶ配列となっている。平方根の利用で具体物を例に挙げて学ぶことに加え、所々に日常生活との関係や高校数学への発展について説明があり、深い学びへとつながるように工夫されている。 ・章の導入では、当該の学習内容に関連する日常生活の中の事象や実験等の数学的活動を示し、学習意欲を高める配慮がされている。また、第1学年の「データの活用」では、導入の事象を章末まで通して学習を進めるなど、よく構成されている。すべての章に「数学的活動」を位置付け、「問題を見つける→予想する→解決する→新たな問題を見つける」を基本とする過程で、「表で考えよう」や「説明しよう」など問題に応じた過程も示し、自立的、協働的に解決できるようによく配慮されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を養 い、個性を生かし 多様な人々との協 働を促すととも に、生徒の学習習 慣が確立するよう 配慮すること	・「数学の力」「役立つ数学」「深めよう!」では、数学を実際の仕事で役立てている人や学 んだ数学と日常をつなげてコラムとして取り上げ、学習の意義を社会や生活との関わり
3 学習指導要領 に示された各教 科の配慮事項に かかわること	 ・各学年巻頭のQRコードやそれぞれの箇所からアクセスして利用できるデジタルコンテンツが,第1学年で14箇所,第2学年で10箇所,第3学年で17箇所,合計41箇所用意され,活用したいタイミングで使えるようによく工夫されている。 ・第3学年の「相似な図形」では,輪ゴム2本でイラストを2倍に拡大する活動を位置付けるなど,具体的な体験を伴って学ぶことで,生徒の学習意欲を高めることができるように工夫されている。 ・巻末の折込には,ホワイトボード生地のページ「アイデアボード」を位置付け,考えを伝え合う学習活動が円滑に行えるようによく配慮されている。
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	・生徒の対話から疑問をもたせて「目標」が見出されており、それが毎時間あることで、 授業の流れをイメージできるように構成されている。解説的な記述が多く、指導内容や ポイントを押さえて指導できるようによく配慮されている。 ・基本単位時間は、問題〜例題〜練習(問)という流れになっており、所々に補充問題があ る。補充問題が、巻末ではなく章末にまとめて掲載してあることで、ドリルのように反 復練習をしやすいようによく工夫されている。
5 印刷・製本にか かわること	 ・UD の観点から、重要事項などが、一目で区別しやすいようにマークが言葉で示してあり、配慮されている。 ・目次に、既習事項とのつながりが示してあり、系統性を踏まえた指導がしやすいように十分に配慮されている。また、インデックスで章と節をもとにページを検索できる。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、 であるをは、 であるというでは、 であるのでは、 であるのでは、 であるのでは、 であるのでは、 であるのでは、 できるのでは、 できないではないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できない	 ・第3学年の「平方根」の単元では、導入で方眼上の点をつなぐ活動から面積2の正方形の一辺の数に着目させ、「未知の数(無理数)」を探究する意欲をもたせるだけでなく、その後の活動につながるように大変よく工夫されている。電卓による近似値の探究活動から、根号の必要性や有用性を感じ、平方根の定義を身に付け、その上で、平方根の計算の仕組みを学ぶ配列となっている。平方根の利用では、具体物を例に挙げて学ぶことに加え、所々に既習内容との関係や高校数学への発展について説明がしてあり、深い学びへとつながるように十分な工夫がされている。 ・章の導入では、当該単元の学習内容を示し、復習できるページを設けている。また、日常生活の中の事象や実験、作業等の数学的活動を取り上げ、学びの必然性やストーリー性をもたせることで学習意欲を高めるように配慮している。ほぼすべての章の活用の節で「問題を見いだそう→問題をつかもう→自分の考えをもとう→友だちの考えを知ろう→みんなで話し合おう→ふり返ろう→深めよう」の過程で、自立的、協働的に解決できるようによく配慮されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を生か 個性をとの協 働を促すととも に、生徒の学習習 慣が確立すること	・既習内容と学習した学年を振り返ることができるよう、本文に「もどって確認」が掲載され、さらに巻末の「学びのマップ」ともつなげて学習できるように工夫され、家庭学習でも活用できるようによく配慮されている。
3 学習指導要領 に示された各教 科の配慮事項に かかわること	・各学年巻頭のQRコードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツが、第1学年で13箇所、第2学年で7箇所、第3学年で9箇所、合計29箇所用意され、動的な表現や3Dによる立体表現を中心に扱うことで、生徒の理解を深める工夫がされている。 ・デジタルコンテンツの中に平行線の引き方などの小学校からの学び直しにつながる動画を位置付け、家庭学習や復習につなげるように配慮されている。 ・3年生の巻末に「ひろがる数学」では、中学校から高校数学への発展を紹介し、数学の学習におけるつながりを意識させる配慮がされている。
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	・導入での問題提示、展開での練習問題、まとめというように構成されており、授業の流れをイメージしやすく配慮されている。「たしかめ」で類似問題、「問」で練習問題と意図的に使い分け、「たしかめ」は評価問題としても扱えるように十分配慮されている。 ・基本単位時間は、問題~例題~たしかめ~練習(問)~補充問題という流れになっている。 「たしかめ」という例題と類似した問題を、例題と練習(問)の間に入れることで、より確実に知識や技能を習得させるようによく工夫されている。
5 印刷・製本にか かわること	・カラーUDやUDフォント使用することで、色覚の個人差や読み間違えにくいようによく配慮されている。・目次に、「ふりかえり」として既習事項とのつながりが示してあり、系統性を踏まえた指導がしやすいようによく配慮されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本などでは、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・第3学年の「平方根」の単元では、導入で課題としている面積2の正方形をあえて提示せず、探究心をくすぐるようによく工夫がされている。身近な数値(有理数)を扱うことで平方根の定義を理解し、根号の使い方を身に付けた後、電卓による近似値の探究活動で、「未知の数(無理数)」の理解を深め、平方根の計算の仕組みを学ぶ配列となっている。平方根の利用では、具体物を例に挙げ、深い学びへとつながるように工夫されている。 ・章の導入では、当該の学習内容に関連する日常生活の中の事象や実験等の数学的活動を示し、学習意欲を高める配慮がされている。また、第1学年の「データの活用」では、導入の題材を利用の場面で再度位置付けるなど、大変よく構成されている。ほぼすべての章の利用の節で、「利用場面→場面の状況を整理して問題設定→見通しを立てて問題を解決→問題をひろげ深める」の過程で、自立的、協働的な解決を設定したり生徒の理解度や習熟度に合わせて学べたりできるように配慮されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を生い 個性を生の 多様なすととの 働を促すると に、確立する 間慮すること	・多くの章で、身に付けた知識・技能をもとに解決する「利用」の節が位置付き、またその章末でどのような「見方・考え方」を働かせたのかを振り返ることができるように示したり、学んだことをさらに深めたりすることができるように配慮されている。 ・「数学ライブラリー」では、身のまわりで数学が活用されている場面を取り上げ、学習の意義を社会や生活との関わりの中で感じることができるように配慮されている。 ・本文に「ふりかえり」が掲載されていたり、誤答例が本文中に頻繁に掲載されていたりするなど、既習内容と学習した学年をふり返ることができるよう配慮されている。学びを支援するための解説や動画の QR コードが多数掲載されており、家庭学習でも活用できるように十分配慮されている。
3 学習指導要領 に示された各教 科の配慮事項に かかわること	・各学年巻頭の QR コードやそれぞれの箇所からアクセスして利用できるデジタルコンテンツが、第1学年で57箇所、第2学年で42箇所、第3学年で58箇所、合計157箇所用意され、解答に加えてヒントの確認もスムーズにでき、家庭での学習に活用しやすいように大変よく工夫されている。 ・第2学年の「図形の性質と証明」では、折り紙で正三角形をつくる活動を通して、正三角形の性質を用いて証明するようによく工夫されている。 ・MathNavi レクチャー(無料動画コンテンツ 約240題)を活用し、全ての例題の解説を家庭でも確認でき、学び直しや予習ができるようによく配慮されている。
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	 ・学習目標が内容のまとまりごとにあり、指導内容も明確になっているため、授業の流れをイメージしやすくなっている。例題が豊富で、例題の直後の問いは、類題から入り、無理なく取り組めるようによく配慮されている。 ・基本単位時間は、問題~例題~練習(問)~補充問題という流れになっている。さらに、必要に応じて単位時間ごとにまとめた「練習問題」がある。また、QR コードによる解き方などの動画があり、知識や技能を確実に習得できるようによく工夫して配列してある。
5 印刷・製本にか かわること	・カラーUDやUDフォント使用することで、色覚の個人差や読み間違えにくいようによく配慮されている。・目次に、「ふりかえり」として既習事項とのつながりが示してあり、系統性を踏まえた指導がしやすいようによく配慮されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、これでは、これのでは、こ	・第3学年の「平方根」の単元では、導入で折り紙を利用することで正方形の面積から一辺の数に着目させ、「未知の数(無理数)」を探究する意欲をもたせるように工夫されている。電卓による近似値の探究活動から、根号の必要性や有用性を感じ、平方根の定義を身に付け、その上で、平方根の計算の仕組みを学ぶ配列となっている。また、「有効数字」、「循環小数と分数」など平方根の利用と関連付けて配置がされている。・章の導入では、当該単元の学習内容を示し、復習できるページを設けている。また、日常生活の中の事象や実験、作業等の数学的活動を取り上げ、学びの必然性をもてるように配慮している。すべての章の「Q」や「TRY」で、登場人物のイラストに吹き出しとしてそれぞれの考えを位置付け、問題を解決するための対話活動を示している。また、巻頭で「学習の進め方」として、「聞く」「話し合う」「発表する」の注意点を示す配慮がされている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を養 い、個性を生かし 多様な人々との協 働を促すととも に、生徒の学習習 慣が確立するよ 配慮すること	・既習内容を振り返ることができるよう、本文に「ふりかえり」が掲載されていたり、理
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	・各学年巻頭のQRコードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツが、第1学年で63箇所、第2学年で50箇所、第3学年で51箇所、合計164箇所用意され、「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類のアイコンを使い、目的に応じた資料を見られるようによく配慮されている。 ・第3学年の「平方根」の導入では、正方形の折り紙を折って、面積が元の折り紙の1/4、1/2になる正方形をつくる活動を通して、面積が2となる正方形を導き出すようによく工夫されている。 ・「考え方を伝える表現活動」として、別紙「探究ノート」を位置付け、「探究」と「課題学習」問題を扱うことで、より生徒に活用力を身に付けさせる工夫がされている。
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	・内容のまとまりごとに「学習の目標」がある。大半が見開き1ページ1時間の内容で、 授業の流れがイメージしやすい。生徒と教師の対話をもとにして、指導のポイントが明 らかにされており、見通しをもって取り組みやすいようによく配慮されている。 ・基本単位時間は、問題~例題~練習(問)となっている。また、インターネットによる補充 問題がある。思考に沿って新たな内容を学んだり、学んだことの理解を深めたりできる 問いかけがあり、段階的に、知識や技能を習得させる工夫が大変よくされている。
5 印刷・製本にか かわること	・カラーUDを使用し、場合分けして、図を用いて四分位数を分かりやすく説明するなど、色覚対応が考えられており、十分に配慮されている。・インデックスで章と節をもとにページを検索できる。・別冊「探究ノート」とリンクし、学習の見通しを自覚できるようによく配慮されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本では、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	・第3学年の「平方根」の単元では、導入で面積2の正方形の一辺の数に着目させ、「未知の数 (無理数)」を探究する意欲をもたせるだけでなく、その後の活動につながるようによく工夫されている。電卓による近似値の探究活動から、根号の必要性や有用性を感じ、平方根の定義を身に付け、その上で、平方根の計算の仕組みを学ぶ配列となっている。平方根の利用では、具体物を例に挙げ、深い学びへとつながるように工夫されている。・章の導入では、当該単元の学習内容を示し、復習できるページを設けている。また、日常生活の中の事象や実験、作業等の数学的活動を取り上げ、学びの必然性やストーリー性を持たせることで学習意欲を高めるように配慮している。一部の章の活用の節で「学び合おう」を位置付け、「身近なことがらを数学の問題にしよう→見通しをもとう→考えよう→話し合おう→ふり返ろう→深めよう」の過程で、自立的、協働的に解決できるように配慮されている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を生 い、個性を生の協 動を促すととも に、生徒の学習と 慣が確立するよ 配慮すること	て不すことで、より深く字ふことかできるよりに配慮されている。 ・「粉学のたりはし」では、冬音の内容に関連のなる託願を取り上げ、学習の音差を社会を
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	 ・各学年巻頭のQRコードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツが,第1学年で35箇所,第2学年で25箇所,第3学年で25箇所,合計85箇所用意され,アニメーションやシミュレーションだけでなく練習問題もあり,学びを助ける工夫がよくされている。 ・自分や仲間の思考過程などを記録する対話シートを位置付け,考えを伝え合う活動がスムーズに行えるように配慮されている。 ・巻末付録として,正多面体の5種類全てを実際に自分で作る事ができ,辺の数や面の数を実際に手に取って調べるなど,具体的な体験を伴って学ぶことができるようによく配慮されている。
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	・学習目標が内容のまとまりごとにある。大半は見開き1ページで終わる内容となっており、授業の流れがイメージしやすい。同じ考えで取り組む「例」と「問」とが対で位置付いており、生徒自身で内容が理解できたかすぐに確認できるようによく工夫している。 ・基本単位時間は、問題~例題~練習(問)~チャレンジ~補充問題という流れになっている。段階的に難易度が上がっていき、補充問題で反復練習もできるようになっていて、知識や技能を確実に習得させるようによく構成されている。
5 印刷・製本にか かわること	 ・カラーUDやUDフォントを使用することで、色覚の個人差や読み間違えがないようによく配慮されている。また、ふりがなは大きく見やすいUDゴシックを使用している。 ・目次に、既習事項とのつながりが示してあり、系統性を踏まえた指導がしやすいようによく配慮されている。また、インデックスで章をもとにページを検索できる。

【種目】理科

【発行者】 5 者

- 2 東京書籍
- 4 大日本図書
- 11 学校図書
- 17 教育出版
- 61 新興出版社啓林館

調査項目	意見
1 基的・基本的・基本的とでは、基本的をでは、基本ができるでは、関め、大学をは、対象をは、対象を対象をは、対象を対象をは、対象を対象をは、しまれば、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	・節ごとに課題を設定して、実験後の「結論を表現しよう」でキーワードとともに投げかけをしている。章末に節ごとに結論の例を示している。 ・構成については4領域を季節や系統性を考慮して配置している。無理なく思考できるよう予備知識を入れるなどの工夫をしている。知識・技能の習熟を狙い、章末問題や単元末に「学習内容の整理」「確かめと応用」が用意されている。実験器具の扱い方は、関係の単元や章に記載されている。既習内容については巻末資料に記載されている。 ・「科学のミカタ」でアドバイスを行っている。「問題発見」「仮説」「構想」「分析」「解釈」「ここがポイント」「活用」などの項目を示し、必要に応じて科学の見方・考え方をはたらかせる機会を与えている。 ・3年生を中心に探究の過程を振り返る項目「探究をふり返ろう」が設置されている。指導の重点を学ぶ機会がある節に「レベルアップ」マークが示されている。3学年にわたり探究の過程を学ぶことができるよう各学年に1回は位置付けられている。
2 主体的に学習に取り り、 り、 りを生を生の協 を生むの協 を生徒のとも に、 で確立すると でですること	・「日常生活や社会との関連」は3学年合計149であり、十分な量である。「つながる科学」等のコラムで関連が扱われている。また、発展で高校とのつながりを示し、興味をもたせている。章末「学んだことをつなげよう」で学習したことを日常生活につなげることができるよう工夫している。「他教科等との関連」は3学年合計41であり、5者の中で最も多い。自然災害では社会・道徳との関連も図られている。
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	・保護メガネの着用、ケガに注意、薬品の取り扱いに注意など安全上の留意事項に対する アイコンが6種類あり、視覚的に注意を喚起するよう工夫している。アイコンは観察、 実験以外の場面にも使用されており、様々な場面で安全に対する意識を促すようになっ ている。実験をするにあたり、使用する水溶液について適切な濃度、分量が記載してあ り、安心して指導できる。 巻末資料として「理科室の決まり」や安全に実験をするためのチェックリスト・「地震が 起きた時の対応」・「応急処置」・「薬品のあつかい方」及び「主な薬品の性質ととりあつ かいの注意」が掲載されている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	・「問題発見」から「課題に対する結論を表現しよう」まで授業の流れに沿った構成となっている。また、結果の分析や考察のための視点が位置づけられている。 ・「章末」には結論が例示されており、生徒の考えた結論と比較することで評価の足場として使用できる。 ・教科書の巻頭にQRコードによるwebを使った学習が位置づけられており、家庭学習として利用できる。「学習内容の整理」「確かめと応用・活用編」が単元末に位置づけられており、習熟度に応じて家庭学習として利用することができる。
5 印刷・製本にかか わること	・サイズ 297mm×187mm (A 4 スリム)、重量 535g (1年生) 624g (2年生) 661g (3年生) ・イラストに使用する色を制限する等、UDによく配慮している。 ・目次と凡例等が見開き 1 ページで示してあり、見やすい。 ・巻末には上記の他に「自由研究」「科学史年表」等がある。

調査項目	意見
1 基一の・基本的・基本的をでは、 を	・課題に対して、実験、結果の例(結果からわかること)を示した後に本文に結論を示している。 ・3年生物領域において、単元2「生命のつながり」の後に単元3「自然界のつながり」を編成し学習の連続性をもたせる工夫がしてある。知識及び技能の習得に関しては、太字などの強調に加え、注釈を多用することで知識が習得できるようにしている。また「章末問題」を設定して、基本事項の再確認を図っている。技能面は必要に応じて「基本操作」や太字による強調で用語等を扱っている。発展的な内容も充実している。各単元の終末に「まとめ」を用意している。「単元末問題」「読解力問題」があり、知識の活用にかかわった配慮がしてある。 ・1年生で「見方」「考え方」について「探究の進め方」を示している。実験等で「着眼点」を示し、見方・考え方をはたらかせる機会としている。「考察」という言葉を用いず、結論を先に提示することで検証的に実験を進める傾向がある。
2 主体的に学習に取りに要を生を生めた。 一切を関係を生める をはない はん	て興味・関心を喚起する内容になっている。「他教科等との関連」は3学年合計39であり、こちらも十分な量である。「つながる」で他教科との関連を記述し、該当教科と学年も示している。また、巻末では理科の学習と算数・数学のページがあり、単位や数値の扱い方等について具体的に記述されている。 ・生徒が行う観察、実験の後に、文章、数値、写真等で結果の例を示している。また「私のレポート」で系統的に結果の書き方が示されている。 ・安全にかかわることについては「注意」として目を引きやすくしてある。石灰水が手に
学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	ついた時の対応方法、ムーングラスの使用など、丁寧で行き届いた内容が記載されている。「理科室のきまり」として実験時の誤りを見つける図のほか、地震時の対応が書かれている。化学分野単元の最初に実験器具の基本操作が見開きにまとめられている。 巻末資料として「理科室のきまり」や「実験の心構え」として安全に実験をするための心構えや服装についての細かなチェックリストが用意されている。また、「火を扱うときの注意」「地震のときの注意」「薬品をとり扱うときの注意」など、具体的で詳細な安全に関する記載がある。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	 ・巻頭に各学年の学習の重点が示されている。 ・実験において「結果の整理」「結果から考えよう」が示されているので、実験から考察で考えるべき視点が明示され、評価の足場として利用できる。 ・計算を用いる学習では、計算の仕方が例示されている。また、「演習」で練習問題や、各単元末にまとめ、単元末問題が位置づけられていて、家庭学習として利用できる。巻末にコラムの索引ができるQRコードを利用して、家庭でWEB学習できる。
5 印刷・製本にかか わること	 ・サイズ 255mm×183mm、重量 528g (1年生) 563g (2年生) 659g (3年生) ・UDに配慮している。 ・目次と凡例等が見開き 2ページで示してあり、索引は巻末に位置づけてある。目次は、単元・章より細かく作られている。 ・巻末は上記の他に「自由研究」「発展的な読み物」等がある。

調査項目	意見
1 基か・基本的・基本的をでは、基本的をできた。 単一の ををまたがある をはまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた は	・「この時間の課題」「この時間のまとめ」で対応させるとともに、本文にて必要な内容について解説を行っている。 ・各学年の4領域の配列は、系統性や他学年との重なりを考慮している。3年生では運動とエネルギーを年度当初に配置している。2年「化学変化と原子・分子」では、燃焼や化学式を先に扱うことで、元素記号や化学変化についての理解がしやすいよう順序立てがされている。知識、技能の習得に重点を置き、必要事項に加え注釈や発展的な内容などを丁寧に記載している。技能面については必要に応じて「基本操作」のページが設定されている。解説も手厚い。各観察・実験については見開きになって確認できる。単元末に「学びを日常に生かしたら」を入れ思考力・判断力・表現力の育成を図っている。・「この時間の課題」の下に見方・考え方を示している。実験(見開き)の「考察」で考えるべきことを伝えている。 ・3年「しっかりふり返り」で、過程をふり返るポイントを丁寧に示している。各学年の重点に対応した探究の実験が他学年でも「しっかり○○」と明記してある。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし 多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	いる。「学びを生かす」を位置付け、日常生活とのつながりを図っている。「他教科等との問題」は2学年会計2である。「今かがり、で関連を示している。「他教科等と
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	・1年生巻頭の「実験室を使うコツ」にて、実験をする際の注意事項についてまとめて記載してある。また巻末には「実験器具の操作」のページがあり、正しく安全に実験器具を扱えるようまとめてある。 「ストップ!!」のアイコンと強調のための赤い文字を用いて、事故防止を意識できるよう工夫している。また、実験開始時の「Can-Do List」には学習の目的に加えて、安全や器具操作にかかわる目標が設定されている。実験をするにあたり、使用する水溶液について適切な濃度、分量が記載してあり、安心して指導できる。全体的に細かい注意が非常に多く、丁寧に記載されている。また各所にQRコードを配置し、器具の安全な使い方について確認できるようにしてある。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	・基本操作としてレポートの作成の仕方について丁寧な説明がされている。導入から課題 →計画→結果→考察→振り返り、と問題解決学習の流れで構成されている。 ・各学習過程において「結果の見方・考え方」「考察の見方・考え方」「この時間のまとめ」 が例示されていて、評価の観点として利用できる。キャラクターの話し合いの様子も、 授業で参考にすべきキーワードが明示され、授業で扱うべきことがわかりやすい。 ・Can-Do List が章末にも設定され、QRコードを読み取ると章のまとめや基礎問題を確認できるようになっている。
5 印刷・製本にかか わること	・サイズ 255mm×209mm、重量 530g(1年生)554g(2年生)544g(3年生)

調査項目	意見
1 基的・基本的・基本的とと 本族には できた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいま	・ほぼすべての活動について「課題」に対して「結論」が示されている。本文で解説をした後に最後に結論付けをすることで本時のまとめとしている。 ・4領域の配置は、学年内だけでなく、学年間の接続を考慮してある。小学校や高等学校との接続についても意識を持たせる工夫がしてある。また、章末に整理問題「要点と重要用語の整理」があり、学習した内容についての定着を図ることができるようにしてある。技能の習得については、必要に応じて「基礎技能」で解説してある。実験方法の記載は大きめなイラストを用いるなどして目線の移動がしやすくなっている。 ・生徒の吹き出しの言葉によってアドバイスを得られるようになっている。構成が、「課題」「実験」「考察」「結論」で統一されており、問題解決の過程に沿って思考しやすくしている。 ・「考えよう」として、単元末に太字で、課題についてここまで調べてきたことを振り返る観点が示されている。
2 主体的に学習に取り りに関連を生かり の様なはないといる をといる は、生徒のは に、確立すると でですると でであること	の関連」は3学年合計12である。「学びをつなげよう」で他教科との関連を示している。 ブリッジ算数・数学で関連を位置付けている。 ・必要に応じて、生徒が行う観察、実験の後に、文章、数値、写真等で結果が示してある。 結果の表し方を「記述」「記録」と区別して示している。数値結果について表とグラフが
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	・1年生は巻頭に、2、3年生では巻末に「理科室のきまりと応急処置」のページがあり、安全上の注意事項や応急処置について掲載している。「注意」「禁止」アイコンを用いて危険度に差をつけ、より注意を喚起できるようにしている。また、「室内換気」「保護眼鏡」「廃液処理」のアイコンで、注意点を分かりやすく示している。また、実験の仕方についてイラストを用いてわかりやすく紹介することで誤りなく実験が進められるようにしている。 巻末資料として薬品の扱い方などが基礎技能としてまとめて示してある。また主な物質や試薬についてもの取り扱い表があり、注意事項は赤文字で記載してある。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	 ・序章に「これまでの学習」「学習前の私」と章末に「要点をチェック」「学習後の私」が位置づけられていて、単元を通して育てる生徒像が示されている。 ・考察でしめした内容の解説が「実験●から」に示されている。結論についても明示されていることで、評価の視点となる。 ・終末には「要点のチェック」が位置付けられていたり、「まなびリンク」というQRコードが位置付けられていたりして、家庭学習として利用できる。単元末に「基本問題」「学年末総合問題」が位置付けられている。
5 印刷・製本にかか わること	・サイズ 25 7 mm×209mm、重量 686g(1年生)708g(2年生)789g(3年生) ・UDに配慮している。 ・目次と凡例等が見開き 1ページで示してある。基礎技能での索引があり使いやすい。 ・巻末は上記の他に「郊外の施設」「ペーパークラフト」等がある。

調査項目	意見
1 基的・基本的・基本的・基本的とと を設定する を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を の表示を の表示を	・課題を?で示し、結論を実験後の本文(実験○から)で記載してある。 ・4領域は、全学年、生物→地学→化学→物理の順で配列されている。単元や章のはじめに「サイエンス資料」として技能面についての解説がしてある。実験では必要に応じて「実験のスキル」を配置し、必要な技能をわかりやすく示している。章ごとに「基本のチェック」や単元ごとに「学習のまとめ」が端的に記載されていることで、必要事項の確認が容易である。全体的に、丁寧に知識を教え、最終的に活用する機会を設けて探究の中で思考力や表現力等を育成することを狙っている。 ・「表現してみよう」「考えてみよう」の項目で。「モデル」「計画」などのスキルを示している。また、吹き出しの生徒イラストの発言が考える視点になっている。探Qのページで活用を目指すことや、力だめしを取り入れることで、事前に身に付けた知識・技能を活用する場面を設定し、思考力・表現力・判断力の育成を図っている。 ・実験ごとに「探究のふり返り」が示してある。観点を絞ってふり返られるようになっている。振り返りを重視している傾向がある。
2 主体的に学習に取り組む態度を生めの場合を生むの協働を生徒のはは、生徒のははなするともでいます。 と で は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ついて生活場面などで深化させる内容を取り扱っている。これらのラボには「高校生物へ」の記載があり、高校へのつながりを示している。「他教科等との関連」は3学年合計26である。「〇〇との関連」で他教科との関連を示している。巻末で「理科でよく使う
3 学習指導要領に 示された各教科 の配慮事項にか かわること	・「保護眼鏡」「要換気」「廃液処理」「火気注意」「やけど注意」「けが注意」「強い光注意」「感電注意」の細分化された8種類の観察・実験の注意・安全マークを用いて、注意を促している。具体的な注意事項については、「!」マークをつけて丁寧な説明がしてある。教科書の中ほどに「サイエンス資料」として「実験を正しく安全に進めるために」というページを設定し、実験をするにあたってのチェックリストや実験器具の正しい扱い方を紹介している。また、地震が発生した場合も安全の確保についても記載している。巻末には「教科書に登場するおもな物質や薬品の性質」についてまとめてあり、薬品を取り扱う上での注意事項が赤文字で具体的に記載してある。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態 を踏まえた教育 の充実に関する こと	 探究の過程が常に位置付けられており、その学習内容で重点的に扱う過程も見出しを付けて明確にしている。「探Q実験」が設定され、「探Qシート」(巻末の切り取りシート)により、生徒の活動がサポートされている。また、巻末に「探究活動の流れと探究の振り返り」がチェックリストとともに位置付けられ、学習活動の見通しが示されている。 「探究のふり返り」に具体的な評価の観点が示されている。 単元末に「学習のまとめ」「力試し」が位置づけられていて、家庭学習の補助教材として利用できる。
5 印刷・製本にかか わること	 ・サイズ 255mm×209mm、重量 620g (1年生) 646g (2年生) 709g (3年生) ・UDに配慮している。 ・表紙には凡例や目次や技能ごとの索引見開き 1ページで作られており、重要語句の索引が巻末に位置付いている。 ・巻末には上記の他に「学年末総合問題」「自由研究」等がある。

【種目】 音楽

【発行者】 2 者

- 17 教育出版
- 27 教育芸術社

種 目【音楽 一般】 発行者【17 教育出版】

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本的を確実には、これので	 ・教材のはじめに学びのねらいが位置付けられていることにより、学びの見通しをもつことができ、さらに多様な学習活動に対応しており、分量も適切である。 ・教材の配列が全学年とも「学びのユニット」に示されている。「比べてみよう」では、主要教材と比較して表現することができる教材、「深めてみよう」では、学びを深めるための教材や活動が位置付けられている。 ・教材の右端には、基礎的事項が明記されている。また、「Active!」「Let's sing!」には、歌唱の技能を深めるために必要な技能が取り上げられている。 ・音楽的な見方・考え方を働かせながら学習できるように、学習目標に音楽を形づくっている要素が明記されている。 ・創作では、活動の手順やワークシートが位置付けられており、進んで学びあう活動が展開できるよう工夫されている。挿絵と吹き出しには、学びのポイントが示されている。
2 主体的に学習 に取り組む態度を 養い、個性を生か し多様な人々との 協働を促すととも に、生徒の学習習 慣が確立するよう 配慮すること	いうものなのか」という疑問について、科学的根拠に基づいて記述されており、理科との関連からも「音」の原理を理解できるよう配慮されている。 ・2・3年上の「ポピュラー音楽図鑑」では、世界中の人々の生活と密接に結びつきながら発展してきた大衆音楽の歴史や特徴に触れている。
3 学習指導要 領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 「何が同じで、何が違う?」では、2・3年上の雅楽「越天楽(平調)」とベートーヴェン交響曲第5番で用いる楽器を比較したり、2・3年下では、「歌舞伎」と歌劇「アイーダ」の音楽の役割や特徴を比較したりしながら、日本の伝統音楽と西洋の音楽との共通性及び固有性について考えることできるよう配慮されている。 ・1年の筝曲「六段の調」では、日本の伝統楽器「筝」と、中国のグージォン、朝鮮半島のカヤグムを聴き比べ、感じ取ったことを交流する「話し合おう」が設定され、言語活動の充実と他者と協働して対話的な活動が展開できるよう配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 経験年数の少ない教員でも、教材についての資料や音源が二次元コードで多数示され、短い時間で教材研究をしたり、授業で具体的に示したりすることができる配慮が十分なされている。 ・歌い方を図で示し、技能の定着が図れるように配慮されている。また、知識理解のために、学びのユニットで学ぶ音楽を形づくっている要素が分かるように位置付けられている。
5 印刷・製本にかか わること	 ・誰にでも見やすいユニバーサルデザインフォントを使用し、学習の内容に応じた楽譜の示し方になっている。 ・図解やイラストなどで内容がまとめられており、音楽を視覚的に分かりやすく学んでいけるよう配慮がされている。 ・見開きを使ったワイドなカラーページを使うことで、一面で学習に必要な情報を把握できるような工夫がされている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本的能を確実にはいる。 おいま はいい はい	 ・学習目標と活動文が示されていることにより、学びの見通しをもつことができる。また、音楽を形づくっている要素が各教材に示されており、音楽的な見方・考え方を働かせるための工夫がある。多様な学習活動に対応しており、分量は十分配慮されている。 ・目次に続くページには、1年間で学習する内容が明記されている。学習内容と各教材との関連を図ることができるように十分配慮されている。 ・教材の左端には、用語や記号などの基礎的事項が明記されている。また、「深めよう!音楽」のページでは、生徒が自分の考えをワークシートに書き込むことで、整理しながら学習を主体的に進めることができるように十分配慮されている。 ・「曲のよさをプレゼンしよう」では、効果的なプレゼンの仕方を工夫する活動を通して、対話的な学びが深まるようによく配慮されている。 ・創作では、活動の手順やワークシートが位置付けられている。言葉だけではなく、風景やイラストからもイメージをふくらませることができるようによく配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	 ・全体的に音楽学習の意義について、社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材を多く取り扱っている。特に、全学年において、見開き冒頭から生徒もよく知っている著名なアーティストを紹介し、音楽への学習意欲を喚起できるよう大変よく配慮されている。 ・2・3年下の「ポピュラー音楽」の学習では、海外のロックやジャズばかりでなく、日本の若者の文化であるアイドルやアニメの音楽も多様に取り上げられており、幅広く音
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 ・1年の「郷土に伝わる民謡を調べよう」では、各地に伝わる民謡の特徴やよさについて学び、地域の音楽文化に興味関心をもてるように大変配慮されている。 ・2・3年上の「受け継ごう!郷土の祭りや芸能」、2・3年下の「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」では、地域に伝わる伝統音楽の歴史やよさを学び取ることで次世代に受け継いでいくことの大切さを感じ取り、郷土の音楽文化を尊重する態度を育むように十分工夫されている。 ・2・3年下の「伝統音楽の魅力を見つけよう」では、「能」「歌舞伎」「文楽」の学習を通して、自国の音楽文化に対する誇りをもち、グローバルな時代に対応する力を育むことができるよう、よく配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・二次元コードなどで教科書に掲載されている演奏者などの情報や、楽曲にまつわる資料を示し、教材研究に配慮されている。また、小学校からの系統性や既習事項とのつながりが明確で、学びの系統性を意図した指導計画が立てやすい。 ・歌い方など技能の図解や、音楽を形づくっている要素の具体的な説明が位置付けられ、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が十分図られるよう、よく配慮されている。 ・誰にでも見やすいユニバーサルデザインフォントを使用し、学習の内容に応じた楽譜の
印刷・製本にかか わること	

【種目】 器楽

【発行者】 2 者

- 17 教育出版
- 27 教育芸術社

種 目【音楽 器楽】 発行者【17 教育出版】

調査項目			意	 見		
1 基礎的・基本的・基本 と	習を見通せる ・リコーダーの また、タンキ ・基本的な奏法 数位置付けら ・筝の扱い方や 示している。 ・器楽曲と鑑賞 されている。	工夫がされています。 基本的な奏法を ジングやアーテー にが身に付いただっれている。 の基本的な奏い は曲が関連付い 「名曲旋律集」 何がちがう」で	いる。 を身に付けるた ィキュレーショ かどうかを確か 法を身に付ける ており、音楽文 も発展的に扱 は、問題解決的	めに、必要な運 ンが図解と発音 かるために、気 ために、写真を ない理解を深め えるように工夫 な学習ができる	指が全て両端に 音で示されてい。 豆めの練習曲や や口絵の吹き出 かることができ されている。 るよう配慮され	まとめの曲が多 しでポイントを るような工夫が ていて、さらに
2 主体的に学習に乗りに受習に取り、個性をといるをはいる。 はいかい はいい はい は	篠笛、尺八、ギター、筝、三味線、太鼓でも、演奏家からのメッセージが掲載されており、これから初めて楽器を始める生徒の学習意欲を喚起するような工夫が図られている。 ・リコーダーの学習だけでも7つの二次元コードが整備されており、音源だけではなく、					
	掲載ページ数 曲数 二次元コード	5曲 動画3	1曲 動画1	3曲 音2 動画3	2曲 音3 動画2	6ページ 9曲 動画5
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	・教材について 短い時間で教 されている。・各楽器の奏法	この資料や音源に対けて である ないでん といっこう はいしい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	が二次元コート り、授業で具体 解説明するペー	で多数示され、	経験年数の少 けることができ 分かりやすい	
5 印刷・製本にかかかわること	示し方になっ ・鮮やかな写真 しさを視覚的 ・巻末資料はリ	っている。 『やカラーイラ』 りに伝えていく。	ストなどで内容 ような配慮がさ _{旨表} や、ギター	ぎを分かりやすく れている。	くまとめられて	に応じた楽譜の おり、音楽の楽 引きで掲載され、

調査項目			意	見		
1 基礎的・基本的・基本的に表現のでは、これの	 ・学習目標と活動文、音楽を形づくっている要素が位置付けられ、身に付けることができる内容が分かり、見通しをもたせることができるように配慮されている。 ・リコーダーの基本的な奏法を身に付けるために、必要な運指が全て両端に示されている。奏法を解説する「LESSON」では、ポイントが写真や発音で詳しく示されている。 ・「吹いてみよう」では、2小節程度の曲で技能を確かめることができる。他にも、様々な難易度の練習曲が掲載されており、技能を習得するために十分な分量である。 ・筝の扱い方やの基本的な奏法を習得するために、演奏のポイントが明確に示されている。技能を確実に習得させることができるよう、発展性・曲数ともに十分に配慮されている。 ・「My Melody」には、日本の音階を使って創作ができるよう、課題やワークシートが工夫されている。 ・「深めよう!音楽」では、問題解決的な学習のヒントが掲載され、学んだことを生かして、思考力、判断力、表現力を育む活動がよく工夫されている。 					
2 主体的に学習 に取り組む態度を 養い、個性を生か し多様なせるとと 協働を促すると 慣が確立するよう 配慮すること 3 学習指導要 領に示された各	・「音楽って何 音楽と生活と からのメッセ な工夫が図ら・「打楽器」の 写真を交えて バンドが紹介・「日本音楽の う大変工夫さ	だろう?」と題:の関わりの中で一ジも多く掲げれている。 学習では、カスで詳しい奏法ができれており、	回して、豊富なで実感すること 載され、初めて スタネットやト紹介されている 生徒の学習意欲 は、我が国の伝	写真資料を用いれてきるよう、楽器にふれるのである。また、ドラ・スを喚起する工芸	ながら音楽科の 工夫されてい 生徒の学習意欲 ど15種類の打 ムやギターを使 失がされている。	一目でわかるよ
教科の配慮事項にかかわること	, , , , , , , , ,	の解説に関する 篠笛		要数、二次元コー 充実している。 筝 10ページ 4曲 HP紹介1		ある。全体的な 太鼓 6ページ 1曲 IP 紹介1
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・二次元コードなどで、教科書に掲載されている演奏者などの情報や楽曲にまつわる資料を示し、教材研究に配慮されている。また、小学校からの系統性や既習事項、表現の教材とのつながりが明確で、学びの系統性を意図した指導計画が立てやすい。 ・打楽器の奏法についてのページ数が多く、アンサンブルの曲も掲載されていて、身近な楽器や手拍子などを使い、手軽に演奏できる教材を多く扱っている。準備に時間と費用をかけなくても取り組めるよう、大変よく配慮されている。 					
5 印刷・製本にかかかること	示し方になっ ・鮮やかな写真 しさを視覚的 ・巻末資料は、	っている。 『やカラーイラ』 かに伝えていく。 リコーダーの	ストなどで内窄 ように、よくコ 運指表やギター	ドを分かりやす。 こ夫されている。 -のコード表にた	くまとめられて 著名人のコメ	鑑、音楽の記号

【種目】 美術

【発行者】 3 者

- 9 開隆堂出版
- 38 光村図書出版
- 116 日本文教出版

調査項目	意見
1 基礎知確、しすな力育的。 及にれ課た考表のの表では、しずなり育なのである。 をおいま はいり	・資質、能力の3つの柱である「知識・技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学習に向かう力・人間性」の涵養が成されるよう、全題材で学習の目標が明示されている。 ・各個人の能力を伸ばすことができるよう生徒の興味・関心を高め、意欲的に学習に取り組める題材や発達段階に応じて系統的に配列されている。題材の内訳「A表現ア30%、A表現イ30%、B鑑賞40%」・小学校図画工作と中学校美術科の学習の関連に配慮するとともに、中学校美術科の学習の目的や意義を確認する「学びの地図」を配置し、学習の質的変化に順応できるよう配慮されている。 ・表現題材の導入として、また独立した鑑賞題材として扱うことができるようになっており、探究的かつ主体的な鑑賞活動が可能である。 ・学習指導要領に示されている授業時数をふまえ、バランスよく配列されている。
2 主 は と と と と で を 生 人 促 生 が 配 が な と と で 立 す る こ と で で 重 す る こ と で で 慮 す る こ と で で 慮 で で し で し い し と と で で 慮 で で し で し い し と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	・原寸大図版や部分拡大した鑑賞資料を掲載し、細かく繊細な表現が分かるようになっており、探求的かつ主体的な鑑賞活動が可能である。作者の言葉やアイデアスケッチを取り上げ、作品がどのような発想・構想のもとに生まれたのか学ぶことができる。 ・題材名は、内容が豊かにイメージできるように工夫されており、主文は、生徒の言語感覚を大切にして、生徒の心に語りかけ、題材内容をイメージさせて意欲的に課題をつかみ取れるように構成されている。 ・生徒が美術やその作品に親しみを増し、イメージをふくらませたり、技能をより正確に習得し、自分で学習を進められたりするように、制作の手順、材料・用具の使い方、技法の手立てなどを写真やイラストを用いて構成された資料が豊富である。 ・1年:学びの資料(9項目16p)・2、3年:学びの資料(11項目17p)計20項目33p
3 学習指導要領 に示された各教 科の配慮事項に かかわること	 ・岐阜県に関わる作家の作品や、美術館、またそこに所蔵されている作品が紹介されている。特に1年巻末資料では「多治見市モザイクタイルミュージアム」の外観と内部が大きく取り上げられている。 ・全学年を通して、映像メディアを活用した題材が紹介されている。また、その他の題材においても、コンピュータを活用した際の作品例や、発想構想のヒントや手立てとして紹介されており、活動の表現の幅を広げる工夫がされている。 ・技法の紹介コーナーでデジタルカメラを中心に映像メディアを扱っている。機器の紹介や使い方だけでなく、著作権や肖像権、Web 公開時の注意についても触れられている。
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	・見開き 2 頁で一つの題材を扱い、評価の観点に関連した学びの目標や学習のポイントが掲載されている。制作の手立てや美術用語、生徒作品など、題材の流れがイメージしやすい構成になっており、教員の経験にかかわらず指導できるよう図られている。 ・巻末にさまざまな題材に対応した制作の手順・道具の名称・道具の扱い方・安全面の配慮事項等が丁寧に掲載されている。巻末に掲載された内容の多くはQRコンテンツによる動画で確認できるため、基礎学力の定着や学び方を身に付ける工夫がされている。 ・ A4 ワイド判(見開き幅約 46 cm) 2 冊構成 総ページ数 190 ページ 総重量
印刷・製本にかかわること	727 g ・漢字へのルビ記載、掲載作品の図番号記載、UDフォント採用、色覚特性に対応した色の説明図変更など、多様な特性をもつ生徒に配慮がなされている。 ・巻末に知識と技能に特化した資料ページがある。

調查項目 意 見. 1 ・全ての題材に、造形的な見方・考え方に関わる目標が明記されており、美術科で の学習を通して「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学習に向か 基礎的・基本 う力・人間性」の3つの柱が育まれるよう配慮されている。 的な知識及び技 能を確実に習得 ・題材の内容に応じて「表現中心」「鑑賞中心」と領域を明記し、「絵や彫刻」 させ、これらを 「デザインや工芸など」という分野ごとに構成されており、生徒が、学習内容を 活用して課題を イメージしやすいよう考えられている。題材の内訳「A 表現ア 45%、A 表現イ 30%、B 鑑賞 25%」 解決するために ・1年生では、「美術って何だろう?」「美術で学ぶこと」というページを設け、 必要な思考力、 判断力、表現力 小学校図画工作とのつながりを考え、2・3年生では、身につけた資質や能力を さらに深めるなど、内容の系統性や学年の発達段階に配慮した構成となってい 等を育むこと 各題材の最初に表現に繋がる鑑賞図版を掲載し、表現と鑑賞を一体的に学習でき るよう構成が工夫されている。 ・題材数、領域のバランスが工夫されており、3学期制、2学期制どちらにも対応 できる。 ・本物に近い風合いの用紙への印刷、作品を大きく掲載し、視覚的に生き生きとし 主体的に学習 た紙面構成を工夫したり、鑑賞図版の上から書き込めるトレーシングペーパーを に取り組む態度 綴じこんだりするなど、鑑賞活動が深まるような工夫がなされている。 を養い、個性を ・教科書全体を通して、親しみやすい作品を選定したり問いかけを設定したりして 生かし多様な いる。また、生徒が多様な表現方法の中から、自分の主題に合うものを選択でき 人々との協働を るようになっており、意欲をもって主体的に学習できるよう構成されている。 促すとともに、 ・発想・構想、試行錯誤しながら作品を制作する過程が、詳しく紹介してあり、生 生徒の学習習慣 徒が自分の作品制作に生かすことができる。 ・1年:学びの資料(12項目24p)・2,3年:学びの資料(15項目30p)計27 が確立するよう 配慮すること 項目 54 p ・巻末資料「日本の伝統工芸」で、「美濃和紙」と生徒が自分ですいた「美濃和紙 学習指導要領 で作った卒業証書」が紹介されている。 ・写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアを活用した題材は記載されていな に示された各教 いが、制作におけるイメージ作りの場面や、完成した作品を特定の場面に置いて 科の配慮事項に かかわること 撮影する場面などで、記録媒体としてデジタルカメラを利用した実践が紹介され ている。 ・技法の紹介コーナーで、映像メディアを扱っている。著作権、肖像権についても 記載されている。 ・見開き 2 頁で一つの題材を扱い、表現につながる鑑賞作品を掲載している。「表 現」と「鑑賞」を関連付け、授業の流れがわかる構成になっており、教員の経験 東濃地区の教 員及び児童の実 にかかわらず指導できるよう図られている。 ・巻末に、様々な技法の用具の使い方や安全指導、色彩や鑑賞学習、美術史に関連 態を踏まえた教 育の充実に関す した資料が掲載されている。また、QR コンテンツで技法動画や音声ガイドを視聴 できるため、基礎学力の定着や学び方を身に付ける工夫がされている。 ること • A4 (見開き幅約 42 cm) 2 冊構成 総ページ数 186 ページ 総重量 705 g 印刷・製本に ・色覚特性への配慮として、色相環に色名を入れてある。小さな文字に UD フォン かかわること トを使用したり、図版と図版の間を空けて見やすくしたり等、特別支援教育に配 慮されている。 ・材料や用具、技法等についての資料が巻末にまとめてある。

調查項目 意 見. ・全学年において資質、能力の3つの柱である「知識・技能」の習得、「思考力・ 1 基礎的・基本 判断力・表現力等」の育成、「学習に向かう力・人間性等」の涵養が成されるよ 的な知識及び技 う、どの題材もバランスよく配置されている。 ・発達段階に応じた学びを重視し、各学年それぞれの成長を後押しする美術の学び 能を確実に習得 させ、これらを が設定されており、学びが深められるよう、系統性に配慮して配列されている。 活用して課題を 題材の内訳「A表現ア 45%、A表現イ 30%、B 鑑賞 25%」 ・1 年生では、「中学校美術の世界へようこそ」というページを設け、中学校でも 解決するために 活用できることを示し、入学後に興味を抱きやすく、図画工作での経験を活用で 必要な思考力、 判断力、表現力 きるような題材が適切な時期に配列されている。 ・発想したことが鑑賞に、鑑賞したことが発想や構想に生かされるように工夫され 等を育むこと ている。 ・学校や地域の実態に合わせて活動できるように、同一題材内で、短時間で活動で きる題材も扱われている。また、様々な材料での実践が同一題材内で紹介されて ・生徒が知識を実感的に理解するために、奥行きや見え方の違いを実感できるよう 2 主体的に学習 な工夫がされている。また、作品解説や関連した知識と併せて学習することで、 より作者の思いを考え、対話的な学習活動に活用できるよう構成されている。 に取り組む態度 を養い、個性を ・生徒が自ら主題を生み出し、表現する意欲をもてるように、身近な対象を扱う題 生かし多様な 材や、発想や構想の手立てが掲載されている。また、題材ページの見方や使い方 人々との協働を を明らかにしており、生徒が主体的に学習できるように配慮されている。 促すとともに、 生徒の意欲を引き出し、自ら主題を生み出せるように、様々な作品や情景写真、 生徒の学習習慣 作家の発想方法を掲載し、一人一人の発想・構想力を育んだり、表現の幅を広げ が確立するよう たりするような配慮がなされている。 ・1年:学びの資料(13項目18p)・2,3年上下:学びの資料(18項目28p)計31項 配慮すること ・巻末資料で「多治見市モザイクタイルミュージアム」、「白川郷」が紹介されて 3 学習指導要領 いる。 に示された各教 ・映像メディアを活用した題材として、2つの題材が紹介されている。撮影した動 科の配慮事項に 画や画像を編集し、映像を使って情報を伝える題材も記載されており、生徒の興 味を惹きつける内容となっている。その他の題材においても、イメージ作りの場 かかわること 面で、記録媒体としてデジタルカメラを利用した実践が紹介されている。また、 自分の作品やアイディアを発表する際に、映像メディアを活用する場面も紹介さ れている。 ・技法の紹介コーナーで、映像メディアを扱っている。デジタルカメラを使用した 構図や撮影ショットによる効果、動画を作成する際の制作の手順、VR の鑑賞など の事例を紹介し、情報機器の活用を通しての情報収集活用能力の育成が図れるよ うにしてある。 ・見開き 2 頁で一つの題材を扱い、評価の観点に関連した学びの目標や造形的な視 東濃地区の教 点が掲載されている。アイデアスケッチや生徒作品、作者の言葉があり、題材の 流れがイメージしやすい構成になっており、教員の経験にかかわらず指導できる 員及び児童の実 態を踏まえた教 よう図られている。 育の充実に関す ・巻末にさまざまな題材に対応した制作の手順・道具の名称・道具の扱い方・安全 ること 面の配慮事項等が丁寧に掲載されている。モダンテクニック・木版画・焼き物に ついては、QRコンテンツによる動画で確認できるため、基礎学力の定着や学び 方を身に付ける工夫がされている。 ・A4 ワイド判 (見開き幅約 46 cm) 3 冊構成 総ページ数 201 ページ 総重量 895 g 印刷・製本に 題材タイトルにUDフォントを用い、マーク含め全ページにわたりカラーユニバ ーサルデザインに配慮している。色相環に色名を表記し、色覚特性の有無にも対 かかわること 応している。 ・巻末に技法・色彩・鑑賞に分けた資料が掲載されている。

【種目】 保健体育

【発行者】 4 者

- 2 東京書籍
- 4 大日本図書
- 50 大修館書店
- 224 学研教育みらい

種 目【保健体育】

発行者【2 東京書籍】

調查項目 意 見. ・実習資料 心肺蘇生法(2年 P81~83)では、「資料1 心肺蘇生法」 「資料 2 気道確保、人工呼吸」「資料 3 AED」と、実習を 3 つに分けて学 基礎的・基本 習できるように位置づけている。 的な知識及び技 能を確実に習得 ・資料それぞれに正しい方法とその目的が明記されており、実習方法が1ページに させ、これらを 完結されている。 活用して課題を ・欄外には、119番通報の方法を位置づけ、受付員とのやりとりを会話文にして 解決するために 明示している。 必要な思考力、 ・ストレスへの対処の方法(1年 P40~46)では、コミュニケーションの方 判断力、表現力 法例やいろいろな相談先を明示し、相談相手の条件を設定している。 ・「自分の気持ちを上手につたえる」では、挿絵を用いて場面を想定し、習得した 等を育むこと 知識を活用して好ましくない方法と好ましい方法に分けて実習できるよう位置づ けている。 ・「活用する」「広げる」「読み物」などの項目を立て、本時学習した内容を自他 主体的に学習 の生活にあてはめられるようにしている。 に取り組む態度 ・感染症の広がり方(3年 P149)「読み物」では、インフルエンザを話題に を養い、個性を 挙げ、インフルエンザにかかったら学校を休まなくてはいけない理由を、学校保 生かし多様な 健安全施行規則をもとに紹介している。 人々との協働を 「活用する」「広げる」「読み物」などの項目を立て、家庭実践を促すようにし 促すとともに、 ・保健・医療機関の利用(3年 P159)の「広げる」では、地域の広報誌や医 生徒の学習習慣 師会のホームページを見て、休日の当番医を確認するよう促している。 が確立するよう 配慮すること 3 学習指導要 ・自然災害による傷害の防止(2年 P72~73)では、関連する学習内容が明 領に示された各 記されている。 教科の配慮事項 ・リンクのマークが2種類あり、保健体育科の他の時間で扱うものや口絵との関連 にかかわること があるもの、他教科の学習内容との関連があるものに区別している。 口絵7【支え合って生きている】 P62【傷害の発生原因】 P86【さまざまな自然災害の危険と安全な避難】 理科1年【地震に備えるために】 家庭【災害に備えた住まい】 P1にはリンクの一覧が明記してある。 ・「見つける」-「課題の解決」-「広げる」という構成で学習がつくられ、もっ 4 東濃地区の 教員及び児童の と調べたいことや、日常生活へ生かしていきたいことを考える発問が明記されて 実態を踏まえた いる。 ・各時間に学習するキーワードが「学習課題」の下(冒頭)に記載されている。 教育の充実に関 すること 教科書の最後にキーワードの解説が5ページに渡り、章ごとにまとめてある。 ・各章末の「学習のまとめ」では、知識・技能を「確認の問題」で、思考・判断・ 表現を「活用の問題」で確認できるような問題が用意され、問題ごとに関連する ページが明記されている。1年生23問 / 2年生21問 / 3年生27問 合計71問 ・見出しや重要語句にUDフォントを用いて視認性を高めている。 印刷・製本にか ・目次は各学年の学習内容が保健編と体育編に分けられ列記されている。索引は4 かわること 段組みで見開き2ページを使用している。マークは8種類あり、本文下部や脚注 部分や図・写真の下部に位置付けられている。

種 目【保健体育】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 基のでは、 基本技得ををに、 本技得ををに、 力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実習 心肺蘇生法(2年 P107~109)「資料2 心肺蘇生法の手順」では、資料1の心肺蘇生法の流れの表を、資料2で写真によって一連の流れを明示している。 ・「⑥胸骨圧迫を行う」方法を、「~の正しい方法」として大切なポイントを3つに分けて押さえている。 ・ポイントとなる言葉を太字にしたり、色やフォントを工夫したりして分かりやすくしている。 ・圧迫、圧迫解除について断面図を用いて説明してある。 ・ストレスへの対処(1年 P46~47)「やってみよう」では、ストレスに対処できない場面を取り上げ、ストレスの対処法の例を、「自力解決・信頼できる人に相談する・リラクセーションの方法」の3つの区分に分け、実習につなげている。 ・実習(P51)には、基本的な行い方を提示し一人で実践できる11の例を載せている。
2 主体のに対しては、 と	 ・「話し合ってみよう」「活用して深めよう」の項目を立て、自他の生活にあてはめられるようにしている。 ・感染症の原因(3年 P133)の「話し合ってみよう」では、感染症に感染する一般的な条件を話し合うことで、感染するときには、主体、環境の要因があることを気付くようにしている。 ・「話し合ってみよう」「活用して深めよう」の項目を立て、家庭実践を促すようにしている。 ・「個人の健康を守る社会の仕組み」(3年 P141)の「活用して深めよう」では、自分や家族、地域の人の健康を守るためにできることはないかと問いかけ、家庭実践に促している。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	・自然災害による傷害の防止(2年 P98~99)では、関連する学習内容が明記されている。 ・リンクのマークが2種類あり、保健体育科の他の時間で扱うものや口絵との関連があるものと、他教科の学習内容との関連があるものを明記している。 他教科→火山と地震→理科1年 日本の気象→理科2年 住居の機能と安全な住まい方→技術・家庭 資料ページ(P100)自然災害による傷害の防止→保健編(2年 P98 ~99)
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	
5 印刷・製本に かかわること	・UDフォントを多く用いて文字の視認性や文字情報へのアクセス性を高めている。 ・目次は各学年の学習内容が保健編と体育編に分けられ、章ごとの高さをそろえて表記されている。索引は4段組みの見開き2ページで構成されている。凡例は、マークは種類あり凡例ごとに位置付けられている場所に規則性がある。

発行者【50 大修館書店】

第17名【50 人順 調査項目	意 見
1 基なをは、日本技得ををに、カ本技得ををに、カ	・実習資料 心肺蘇生法(2年 P112~113)では、「胸骨圧迫「AEDの操作」「気道確保と人工呼吸」と、実習を3つに分けて学習できるように位置づけている。 ・実習1では、「圧迫する場所」「手の置き方」「圧迫のしかた」などと小見出しをつけている。 ・「学習のまとめ」として、難しいと思った点、不安に感じることなどを話しあってみようと、学んだことを理解できるよう促している。 ・ストレスへの対処(1年 P50~53)では、ストレスへのさまざまな対処のしかたとして7つの方法を示している。 ・「学びを活かそう」では、自分自身、人との関わり、家族との関わりの場面を設定し、アドバイスをするという方法を用いて客観的に見ることにより自らの対処方法を考えられるようにしている。
2 主取養かと生人促生が配にを生人促生が配けいしととの立まのはは個様協も習ることですることをですることをできまる。 慣う	 「学習のまとめ」の項目を立て、自他の生活にあてはめられるようにしている。例えば、感染症と病原体(3年 P135)の「学習のまとめ」では、ノロウイルスを例に挙げ、感染経路を考えるようにすることで、自他の生活にあてはめられるように配慮している。 「学習のまとめ」の項目を立て、家庭実践を促すようにしている。例えば、「医療機関とその利用」(3年 P147)の「学習のまとめ」では、家族に医療機関を上手に利用するために、どのようにアドバイスするかを問い、家庭実践につながるように配慮している。
3 学習指導要領 に示された各教 科の配慮事項に かかわること	・自然災害によるけがの防止(2年 P106~107)では、関連という項目で教科書内の特集資料のページを明記している。他教科という項目で関連事項を取り上げている単元もあるが、この分野での他教科との関連は明記されていない。関連P116特集資料①②
4 東濃地区の教 員及び児童の実 態を踏まえた教 育の充実に関す ること	・「課題をつかむ」-本文-「学習のまとめ」という構成で学習がつくられ、学習内容を日常生活に生かし、学んだことを確認するための発問が明記されている。 ・各時間に学習するキーワードが「きょうの学習」の下(冒頭)に記載されている。 ・教科書の最後に用語解説が3ページにわたり、章ごとにまとめてある。 ・「章のまとめ」には、「知識・技能の確認問題」と「思考・判断・表現の問題」が用意され、問題ごとに関連するページが明記されている。 1年生30問 / 2年生30問 / 3年生34問 合計94問
5 印刷・製本にか かわること	・重要語句にUDフォントを用いて視認性を高めている。 ・目次は各学年の体育理論と保健編に分けられ、章ごとの高さをそろえて表記されている。索引は4段組みの2ページで構成されている。マークは6種類あるが、掘り下げるという項目の発展的な内容や、web ページの紹介はページの下部に位置付けられている。

種 目【保健体育】 発行者【224 学研】

調查項目 意 見 ・応急手当の意義と基本(2年 P125~126)導入では、2つの場面に居合 わせたときに、どんなことができるかと投げかけ、応急手当の意義について考え 基礎的・基本 られるよう配慮されている。 的な知識及び技 能を確実に習得 ・心肺蘇生法の手順を色別の番号で位置づけ、1ページにまとめてある。 させ、これらを ・「心肺蘇生法の流れ」と「ポイントチェックシート」が実習の始めのページに位 活用して課題を 置づけている。 ・ストレスへの対処 (1年 P62~63) 「まとめる。深める」では資料を使っ 解決するために て対処の仕方を考える時間を作り、習得した技能を活用できるよう、工夫されて 必要な思考力、 判断力、表現力 等を育むこと ・実習の時間を設け、リラクセーションの方法や心と体の SOS を出す練習や、今 日的課題であるいじめ問題を取り上げて活用できるようによく配慮されている。 ・「考える・調べる」「まとめる・深める」で、自他の生活にあてはめられるよう 2 主体的に学習 にしている。例えば、感染症とその予防(3年 P155)の「まとめる・深め に取り組む態度 る」では、自分の学級が学級閉鎖になった時を挙げ、症状のない自分はどのよう を養い、個性を に過ごすべきかを問い、自他の生活にあてはめられるように配慮している。 ・「考える・調べる」「学習のまとめ」「コラム」で、家庭実践を促すようにして 生かし多様な いる。例えば、「医療機関の利用と医薬品の利用」(3年 P162)の「コラ 人々との協働を ム」では、病気やけがの状態をどう伝えるか紹介し、家庭での実践を促してい 促すとともに、 生徒の学習習慣 る。 が確立するよう 配慮すること ・自然災害に備えて(2年 P116~117)では、本教科書内で「関連」とい 学習指導要領 う項目で教科書内の関連ページを紹介している。 ・関わる内容は次ページ以降に「もっとひろげる・ふかめる」という資料ページが に示された各教 科の配慮事項に ・【JOB】という項目があり、学習内容にかかわる職業名を紹介している。 かかわること 【JOB】地質調査技術者 ・「課題をつかむ」-「考える・調べる」-「まとめる・深める」という構成で学 4 東濃地区の 教員及び児童の 習がつくられ、学習のはじめに見つけた課題の解決方法や、学習を通して理解し たことをまとめたり、伝えたりする発問が明記されている。 実態を踏まえた 教育の充実に関 ・各時間に学習するキーワードが「学習の目標」の下(冒頭)に記載されている。 「章のまとめ」では、各章で学んだキーワードとページがまとめてある。 すること ・「章のまとめ」では、基礎的・基本的な確認問題が用意され、問題ごとに関連す るページが明記されている。1年生14問 / 2年生17問 / 3年生18問 合計49問 ・見出しや重要語句にUDフォントを用いて視認性を高めている。 印刷・製本に ・目次は各学年の体育編と保健編に分けられ、章ごとの高さをそろえて表記されて かかわること いる。索引は3段組み・4ページで構成されている。マークは12種類あり、そ の他に学習過程を示すものもある。探究的内容や発展的内容はページ下部に記さ れている。

【種目】 技術

【発行者】 3 者

- 2 東京書籍
- 6 教育図書
- 9 開隆堂出版

調査項目	意見
1 基知確としすな力なをせいまなをはいまれのでは、ここのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、まれて、これのでは、 まれて、	・知識の習得を目標(めあて)とするページ数は A 材料加工(17 頁) B 生物育成(10 頁)C エネルギー変換(23 頁) D 情報(14 頁)と、概ねバランスよく構成されており、良く配置されている。また、P30-33(加工の仕組みとその方法)のように、文章だけでなく図を用いて裏付け、科学的な思考に基づく知識が習得できるように工夫されている。 ・どの編においても「技術の原理・法則と仕組み」「問題解決」「社会の発展」という順に構成されており学びやすい配列になっている。それに加え、「テックラボ (ABC の内容)」(23 頁分) や副題材の製作(例:P30-33)を通して、必要な知識及び技能を習得させることができるように工夫されている。 ・各編とも、身の回りの問題を見つけ、その問題を「技術」を使って解決する学習を設定している。「材料と加工の技術」では、身の回りで片付けられていないものがあるという問題、「生物育成の技術」では、作物を育てたいが畑がないという問題、「エネルギー変換の技術」では、生活の中で不便だと感じている問題、「情報の技術」では、小学生に中学校の情報が伝わっていないという問題などを例に挙げている。 ・問題解決の学習過程が (問題解決のプロセス) に沿って構成され、過程ごとに「問題解決カード」を使って主体的に学習できるようにしている。P39,103,171,223
2 主体的に学習に 取り組む態を生か の様なけるとも して、生徒の学習と でであること でであること	 伝、東京スカイツリーなど、身近なものの技術や最先端技術等8つの例をあげている。 ・3編エネルギー変換の技術では、P142「やってみよう」やP152「調べてみよう」のように何をどのように取り組んだらよいかが具体的に示されており、家庭でも取り組みやすい内容となっている。また、家庭で学習することができる内容も46頁と十分な量が準備
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・伝統的な技術の継承についての記載はあまり見られないが、これからの未来を支えていく先端技術についての資料が豊富である。 例 P186「ロボットの技術」 ・「技術の匠」の中で、技術開発に携わる方を多く紹介している。 例 P67「半永久的に色を保つメタマテリアル」
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	・「導入」「展開」「まとめ」の構成で、教科書の流れに沿って授業を組み立てることができる。各節の冒頭には、「目標」「キーワード」が示され、授業のポイントがわかりやすいよう配慮されている。各編の終末には、3 観点の評価がしやすい工夫がなされている。・ガイダンス(P11)において、技術の見方・考え方を「最適化の窓」として示している。また、各編の導入において「技術の見方・考え方」「発見!技術の最適化」として取り上げ、全ての分野で同じような学習の進め方の章構成とすることで、どのような視点で、どのように学べばよいかが分かりやすく示されている。例 P18-19
5 印刷・製本にかか わること	 ・題、本文、作業の説明、図等でフォントの種類や色、大きさが使い分けられており、どの生徒にも読みやすいよう配慮されている。UDフォントを使用している。 ・専門家の校閲を受けた視覚特性への配慮がなされており、視覚刺激が少ない。文章、図、写真は、適度な大きさで鮮明に印刷されている。全体的に落ち着いた色合いである。 ・用語解説や技術の工夫コーナーなど、情報が豊富である。また、Dマークはインターネットを利用して学習できることを示しており、リンク先には豊富なデジタルコンテンツが用意されている。

調査項目	意見
1 基知確にはすな力む・基知確にはまれましまでは、このでは、これのでは、これのでは、これのでは、は、これのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	 知識の習得を目標(めあて)とするページ数は A材料加工(33 頁) B生物育成(7 頁) Cエネルギー変換(32 頁) D情報(37 頁)と、生物育成以外の項目が充実している。また、P18(金属の性質・金属の種類と利用例)のように多くの例が図と共に詳しく掲載されており、生徒にとって理解しやすいつくりとなっている。 どの編においても「つくって学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」という順に構成されており、学びやすい配列になっている。それに加え別冊の技術ハンドブック(40 頁分)に基礎技能を掲載したり、題材ごとに技能チェック欄が掲載されたりしているなど、技能の習得に期待ができる。 ・各編とも、「やってみよう」というコーナーを設置し、どのように問題を解決していくかを構想できるようにしている。「材料と加工の技術」では、目的や条件に合わせて形状を考えること、「生物育成の技術」では、育ててみたい作物の育成計画を立てること、「エネルギー変換の技術」では、製作したいものに必要な要素(材料)を見つけること、「情報の技術」では、双方向性のあるコンテンツであったらいいなと思うものを作ることなどを例に挙げている。 ・問題解決のための学習手順を、「問題を発見する、構想を考える、構想を具体化する、設計をまとめる」の4つのステップで統一して記載している。また、具体的な実践例および手順が詳細に記載されている。P37、92、157、222
2 主体的に学習に 取り組む態度をを り組むを生をとの 動を促すととの 情が確立する に、確立すること	・各編の導入では、技術の進化による便利さだけではなく、課題についても、具体例とともに触れる配慮がなされている。「生物育成の技術」では、ドローンを利用した最新技術の農作業を紹介しつつ、人の管理で生物育成を行うことの環境への影響に触れている。 ・C編エネルギー変換の技術では、P181「やってみよう」のように1章や2章で実習したことを思い出して生徒自身で学び直しができる内容が取り扱われている。また、家庭で
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 「伝統文化マーク」を設置し、伝統的な技術について紹介している。 例 P13「法隆寺の建築技術」 「技ビト」コーナーを設置し、伝統技術を守ろうと努力している人や日本の技術力を支えている人などを紹介している。また、身近な先輩として高校生のコメントを掲載している。 例 P21「木工作家」
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	・「導入」「展開」「ふり返り」の構成で、授業が組み立てられるように配慮されている。 各節の冒頭には、「目標」「キーワード」が示され、授業のポイントがわかりやすいよう 配慮されている。各編の終末には、3観点の評価がしやすい工夫がなされている。 ・単位時間ごとに「見つける」「学ぶ」「ふり返る」が位置付けられており、その時間に学 ぶポイントやキーワードが示されていることで、どのように学べばよいかがわかるよう になっている。基礎学力の定着を生徒が評価できるように工夫されている。例 P220-221
5 印刷・製本にかか わること	 ・本文、作業の説明等でフォントの種類や色、大きさが使い分けられており、過密を避けるなど、どの生徒にも読みやすいよう配慮されている。UDフォント(12P)使用。 ・重要語句を青色で印字したり、資料番号を黄色で目立つようにしたりするなど、生徒が注目しやすいよう配慮されている。文章、写真、図は鮮明に印刷されている。 ・QRコードが43か所あり、動画コンテンツなどのリンクページを表示することができる。また、別冊に用語集がある。

調査項目	意見
1 基知確こまた考明を表すという。本技得活解必判ををしままままままままままままままままままままままままままままままままままま	・知識の習得を目標(めあて)とするページ数は A 材料加工(49 頁) B 生物育成(15 頁)C エネルギー変換(35 頁) D 情報(43 頁)と、生物育成以外の項目が充実している。また、P32-33(切断、切削のしくみ)P208-209(アクティビティ図とフローチャートの表し方)等、技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、大きく分かりやすい図を使用することで視覚的に理解しやすいよう工夫されている。 ・どの編においても「生活や社会の中の技術」「問題解決」「これからの技術」という順に構成されており学びやすい配列になっている。それに加え、「製作のための技能 P68-87(A 材料と加工のみ)」(20 頁分)に手順と動作のポイントをまとめて記載している。・身の回りの問題を見つけ、その問題を「技術」を使って解決する学習を設定している。「材料と加工の技術」では、身の回りで片付けられていないものを片づけるための製作品を考えること、「生物育成の技術」では、野菜が苦手な人にも好んでもらえる野菜を育てること、「エネルギー変換の技術」では、災害時に役立つ製作品を考えること、「情報の技術」では、セキュリティ機能を高めたアプリを制作することなどを例に挙げている。・各編、第2章のはじめに「問題解決の流れ」を示し、問題解決的な学習の進め方がわかるようになっている。また、実習例ごとに、問題解決の学習過程を統一して示すことで、問題解決的な学び方が身に付くようにしている。 P44、P114、P178、P238
2 主体的に学習に取り組む態度を生をを生めている様なすととの働を生徒のともでは、一個ではなった。 といる はい	 ・各編の導入では、最新技術や技術の歴史に触れながら、小学校との関連・中学校他教科との関連がわかるよう配慮されている。「情報の技術」では、スマート治療室の説明とともに小学校のプログラミング学習、道徳の情報モラル学習との関連が示されている。 ・3編エネルギー変換の技術では、P191「課題」のように、学習したことをもとにして考えを深められる工夫がなされている。また、家庭で学習することができる内容も69頁と非常に多くの内容が準備されている。 ・各編末には「学習のまとめ」が位置付けられ、用語チェックや自己評価ができるようになっており、家庭でも生徒自身で復習できる工夫がなされている。また、コラムを読んで課題と解決方法について考えをもたせるなど、発展的に考える工夫がなされている。例 P192-193
3 学習指導要 領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・ガイダンスページで、製鉄や和紙づくりなどの伝統技術を紹介するとともに、日本の伝統と技術を調べる課題を提示している。 例 P18「受け継がれ発展する技術」 ・インタビュー形式にするなどの工夫をして、開発者について詳しく紹介している。 例 P25「いすの製作者」
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・「導入」「展開」「ふり返り」の構成で、教科書の流れで授業を組み立てることができる。各編の終末には、「科学的な原理・法則」「技術のしくみ、工夫」「学びを深めよう」の視点で、生徒が学習を振り返ることができるよう配慮されている。 ・ガイダンスでは、電気ストーブの事例を挙げて「技術の見方・考え方」について詳しく示し、学び方を理解できるように工夫されている。P14-15 また、各編の扉で「技術分野の学習の流れ」が示されており、学習の見通しがもちやすく、学び方を身に付けさせる工夫がなされている。例 P194-195
5 印刷・製本にかか わること	 ・本文、作業の説明等でフォントの種類や色、大きさが使い分けられており、単語も途中で改行されず、どの生徒にも読みやすいよう配慮されている。UD フォント使用。 ・専門家の校閲を受けた視覚特性への配慮がなされており、視覚刺激が少ない。文章、図、写真のいずれも、余白が十分にあり、適度な大きさで鮮明に印刷されている。 ・用語解説や豆知識コーナーなど、情報が豊富である。また、QR コードが56 か所あり、動画コンテンツなど豊富な情報を得ることができる。

【種目】 家庭

【発行者】 3 者

- 2 東京書籍
- 6 教育図書
- 9 開隆堂出版

調査項目	意見
1 基礎的・基礎的・基本 と	・題材は、「B 衣食住の生活」「C 消費教育・環境」「A 家族・家庭生活」の順で、自身から家族・地域へ、自立から共生へ時間軸と空間軸を意識した配列に工夫されている。 P6,7 ・編の導入に、中学校と小学校の内容を示し、関連した写真を提示している。各関連ページには、「小学校・家庭」のマークを示し、小学校との系統性に配慮している。 P10,11 ・日常食の調理においては、「野菜→肉→魚」の題材を「焼く→煮る→焼く→煮る」のサイクルで繰り返し易しいものから難しいものへと配列することで、小学校の基礎の上に中学校の学習を積み重ね、確実に基礎的・基本的な知識・技能を定着させるよう大変よく工夫されている。 P64~99・生活の営みに係る見方・考え方を問題解決の道筋と対応させて提示し、「ミカタン」というキャラクターの吹き出しによって、見方・考え方を働かせて思考し深い学びができるように大変よく工夫がされている。 P8,9,16,17,87
2 主体的に学習に取り間に要認い、個性を存在では、生活をはいる。 生活を はい	・各編の出口に「持続可能な生活を目指して」が位置付けられ、持続可能な社会の構築に向けて課題を見出し実践につなぐ資料等がよく工夫されている。 ・科学的な根拠から理解を深めるために「衣服の汚れ」「手洗いによる菌の付き方の変化」など実験写真や実験データなどの資料が35点提示され工夫されている。 P123,54・編の導入で、写真やイラストを用いて興味・関心を高め、学習の見通しがもてる工夫がされている。巻末の「生活の課題と実践」は、小題材で学習した問題解決の道筋に沿った実践の進め方が提示されている。さらに「課題の決め方」と実践方法、思考ツールが示され、自分なりの課題を見つける過程の内容がよく工夫されている。 P182,268,271・「まとめよう」「生活に生かそう」で、項目に沿って自己評価をし、学習を振り返ったり生活に生かしたりすることができるように内容がよく工夫されている。 P221・「リンク」マークを用いて必要な知識・技能を確かめる配慮により、既習内容を自分で振り返りながら実践できるようよく工夫されている。 P173⇔222,93⇔63,143⇔141
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・「だし」の取り扱いに関しては、混合だしと煮干しだしの取り方、実習例として混合だしを使った「具だくさんのみそ汁」を示し、小学校の学習と関連を図りながら学習を進められるようによく工夫されている。(P63)「蒸す」では、蒸し器がない場合の調理方法が示されている。実習例は肉料理2品、付け合わせ1品、幼児のおやつ1品。 P60・学習内容と関連させた職業に就く人からの「プロに聞く!」を位置付け、職業観を伝えるとともに学習に生かせるよう工夫されている。 P239, 259
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	・実習場面では、まつり縫いやスナップの失敗例やつまずきの理由が写真で示されている。 ・「これだけはできるようになろう!」をチェック形式で示され評価の視点が明確で適切に 学習指導を行う工夫がされている。(P75)各編末の「学習のまとめ」は見開きで、「生活 にいかそう」で記述欄を設け、学習を生活に生かす配慮が十分されている。 P180,181 ・「いつも確かめよう」を始めに位置付け、易から難の順に実習例を示し、基礎的な知識・ 技能を生かして製作することで、確実に習得できるように大変よく工夫されている。 リ メイク→幼児の小物へ発展させる配列がよく工夫されている。 P136-P153
5 印刷・製本にかかかること	・ユニバーサルデザインに配慮し、実習例の手順は、左から右に横の流れで、大事な内容は太字、写真は鮮やかで大きく提示され、手順が分かりやいように大変よく工夫されている。左利きの例も提示され十分配慮されている。 P172,74,75,128,129・巻末資料に「防災・減災手帳」「子どもの視界体験眼鏡」を位置付け実践的、体験的活動につなげ、生活で活用できるようによく工夫されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基礎的・基本 と	・題材は、「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費教育」の配列で、時間軸と空間軸と関連させる工夫がされている。 口絵1,口絵2・編の導入ページに「小学校での学び」をリンクマークで置付け、小学校での学びを中学校の学習に生かしやすくできるよう配慮されている。 ・日常食の調理では、「肉→魚→野菜」の順で、どの題材も「焼く、煮る、蒸す」の順に調理方法を繰り返すことで、基礎的、基本的な知識・技能を習得させる配列に工夫されている。 P124,130,140・生活の営みに係る見方・考え方については、イラストの吹き出しから、生徒自身が各題材について、また、今後の生活について気付きを促す提示がされている。 P9,10,11
2 主体的に学習に取り組む態生をといる。 は働を促んなすととでは、生徒のでは、生徒のできるといる。 はいま はいま はい	・「持続可能な生活をめざして」が消費者教育の視点でのみ位置付けられている。 ・科学的な根拠の理解を深めるために、実験やグラフ、表などが26例提示され工夫されている。 P119-156 ・編の導入では、アニメーションを使って身近な生活課題に気付かせ、意欲を高める工夫がされている。さらに自立度チェックの項目を提示し身近な生活課題を主体的にとらえる工夫がされている。「生活の実践と課題」では、生徒が問題を発見し課題解決していくまでの例を取り上げ、手順に沿って取り組めるようになっている。巻末には、課題解決を図る実践例が複数紹介されよく工夫されている。 P12,13,282,283・身近な生活課題を主体的に捉えるために、「ふり返る」では、項目に沿って自己評価し自分の学びについて記述することができるようよく工夫されている。 P267・「リンク」マークでは、既習内容とつなぎ学習を振り返る工夫がされている。 P156,224
3 学習指導要 領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・「だし」の学習は、「和食の調理をしてみよう」の中で、和食の基本のだしの一例として 混合だしを取り上げ、取り方を写真で提示しよく工夫されている。「蒸す」では、フライ パンでの蒸し料理を紹介している。実習例は肉が1品、魚が1品、野菜が1品、幼児の おやつ1品。 P155,120 ・「センパイに聞こう」では、家庭分野に関連するメッセージが掲載され、学習イメージを もたせやすいように工夫されている。 P63
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	・実習場面では、まつり縫いやミシンのほころび直しについて、写真で示されている。P187 ・食生活の実習例ごとに、「ふり返る」のチェック項目が位置付けてあり適切に評価できる よう工夫されている。編末では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習を取 り組む態度」の3観点で学習を振り返り、自己評価できる工夫がされている。記述問題 によって、思考・判断・表現力を評価できるよう配慮されている。P34,68,127.160,234,280 ・「生活を豊かにする製作」では、容易なものから難しいものまで取り上げ、配列がよく工 夫されている。
5 印刷・製本に かかわること	・ユニバーサルデザインに配慮されている。調理の手順では、上から下への流れで、写真 と説明文が掲載されている。特に、B領域域衣生活事故の例では、大きなイラストを見 開きで紹介している。 P127, 187 ・巻末には、暮らしのマークとラベルが位置付けられている。 口絵 9, 口絵 10

調査項目	意見
1 基礎的・基本 を を を を を を を で を で を で で で で で で で で で で で で で	・題材は、学習指導要領に沿って「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費教育」の順で、空間軸や時間軸と関連させる配列や内容によく工夫がされている。 目次,P2,3 ・各編の冒頭に「小学校での学び」を位置付け、小学校での学びを振り返り、中学校の学習に生かしやすく配慮されている。 ・日常食の調理では、「肉→魚→野菜」の題材を「焼く・煮る・蒸す」の調理法で提示している。食事の役割、食習慣、栄養素と編ごとの短いステップで「生活へ生かそう」を位置付けている。さらに1食分から1日分の献立作成へステップアップを図る配列にすることで、身に付けた知識や技能をより確実に習得させ、生活に活用できるよう大変よく工夫されている。 P77,95,105,147・生活の営みに係る見方・考え方の視点をイラストや吹き出し、写真などで明確に提示している。 P6,7,10,11
2 主体的に学習に取りに関係のに要認をを生める様のでは、生命のは、生命をはないでは、生命をはないでは、生命をはないでは、生命をはないでは、生命をはないできます。 こう おい こう はい	な社会の構築に向けて生活を見つめる工夫がされている。 ・実験マークや実験データなどの資料が46点提示され、実験・観察を通して科学的な根拠から理解を深めるよう大変よく工夫されている。 P76, P85 - 87
3 学習指導要 領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・「だし」の取り扱いでは、「おいしさと調理」の「うまみとだし」として混合だしが例示され、和食の調理の基礎として位置付けられている。(P109)「蒸す」では、蒸し器の使い方で水滴を防ぐ場合が示されている。実習例:野菜1品、幼児おやつ2品。 P112・「先輩からのエール」として、家庭分野に関連するメッセージを掲載している。 P44
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	・実習場面では、まつり縫いやスナップ付けの手順が写真で示されている。学習指導要領解説にある補修のミシンのほころび直しについても示され、指導する際に分かりやすく工夫されている。 P182,183 ・ 各編末に「学習のまとめ」を位置付け、3 観点に沿った確認問題により学習を振り返ったり自己評価につなげたりすることができるように工夫されている。記述問題が多く、思考・判断・表現力や学びに向かう力を評価できるように十分配慮されている。P118,225 ・ 「生活を豊かにするものの製作」では、実習例を容易なものから難しいものまで多種多様に取り上げることで、個々に作る目的や必然性を意識させやすくし、基礎的技能を生かして製作を行い、確実な習得をさせる工夫がされている。また、製作に必要な知識・技能を実習例の後掲載し、確認しやすいように提示されている。 P186 - 201
5 印刷・製本に かかわること	・ユニバーサルデザインに配慮されている。実習例の手順は、左から右に横の流れで提示してあり、流れや手順が分かりやいように工夫されている。 P182,78 ・巻末資料に「災害から「いのちと生活」をまもるために」として、8 ページにわたり防災についての基礎知識と心構えがまとめられよく工夫されている。

【種目】 英語

【発行者】 6 者

- 2 東京書籍
- 9 開隆堂出版
- 15 三省堂
- 17 教育出版
- 38 光村図書出版
- 61 新興出版社啓林館

調査項目	意見
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、こまままでは、こままままままままままままままままままままままままままままままま	・扱う語彙数に関しては、現行1,259 語に対して、1,681 語となっている。また、小学校の既習語 630 語も掲載されている。その中で、1,000 語を基本語として厳選し、太字で表記してある。中学校の新出語句は、本文で取り上げている。 ・言語活動の設定数は、3 学年通して、「Listen 104 回」「Speak/Talk 204 回」「Read 156 回」「Write 171 回」となっている。話す活動に重点を置いている。 ・各単元の言語活動の構成は、1 年では、「扉/Preview」→「Story①②」→「Mini Activity」→「Story③」→「Unit Activity」となっている。2・3 年では、「扉/Preview」目的・場面・状況把握→「Scene」→「Mini Activity」→「Read and Think」3 段階読み→「Unit Activity」となっている。3 学年通して、学期末に1回の活動として、「Stage Activity」が位置付けられている。 ・思考力、判断力、表現力を育む活動が、各学年3つずつ位置付けられている。それぞれ、1 年では、「自分の好きなことについての文章作り」、2 年では、「クラスで人気のあるものを調べて発表する」、3 年では、「ディベート」などがある。5 領域を満遍なく取り扱う内容となっている。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、 個性を生かし多様な 人々との協働を促す とともに、生徒の学 習習慣が確立するよ う配慮すること	・SDGs の観点に沿った「地球市民としての心を育む」題材が、1年~3年で9つ、「日本の伝統・文化を見つめ直す」題材が、各学年1つずつ、「異文化や国際社会について知る」題材が3つ、今日的課題(道徳、人権、防災・安全)の題材が3つ取り上げられている。 ・3年 Unit3の Unit Activity「守りたい日本の動物たち」では、絶滅の危機にひんしている動物について得た情報に対して、私たちにどんなことができるかを話し合い、動物の記事について主体的に紹介し合う活動ができるよう配慮されている。 ・3年 Stage Activity 2 Discover Japanでは、日本や郷土の文化を紹介するパンフレットを外国人観光客に向けて作成する活動がある。授業をきっかけに日本文化や郷土の歴史について調べ、自ら課題をもち、課題を解決していく内容になっている。
3 学習指導要領に 示された各教科の 配慮事項にかかわ ること	・QR コードで教科書本文の音声を聞いたり、アニメーションを見たりすることができる。そのUnitで扱っている文法項目を使う「目的・場面・状況」への気付きを与えることができ、意味のある文法導入ができる。 ・AI による発音チェックシステムが導入されている。オンラインで連携するALTと話すことができ、パフォーマンステストの結果などについてアドバイスをもらうことができる。 ・1年では、各 Partの最初に小学校で慣れ親しんだ表現を使って「話す」活動が位置付けられている。Unit1~5までは音声中心で活動し、その後5領域を育成する学習へ徐々に移っていく。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態を 踏まえた教育の充 実に関すること	・各単元の最初のページにある「扉」には、単元を貫く目標と preview があり、導入がしやすい。また、終末の活動は、各単元の Unit Activity に位置付けられていて、経験の浅い教員でも指導内容が容易に理解でき、評価しやすいように十分配慮されている。 ・文法のまとめでは図を加えて説明が丁寧にされており理解につなげる工夫がある。基本文のまとめが英文と日本語文と併記されており自主的な学習に活用できる。小学校で学習した単語が分けて記載されており小学校との連接が図られている。ジャンル別の単語が絵とともに数多く示されており、自主的な学習に用いることができる。
5 印刷・製本にか かわること	 ・1年…A4、410g、7mm、174頁 2年… A4、394g、7mm、166頁 3年…A4、385g、6.5mm、162頁 ・A4判化によるページ数の据え置き。白色度をおさえた、目に優しい自然な色の用紙。 ・全学年に小学校単語リストが収録されている。Word List の発音記号が色付きである。

種 目【英語】 発行者【9 開隆堂】

調査項目	意 見
1 基礎的・基本的な 知識及び技能を確 実に習得させ、これ らを活用して決まるために を解決するために 必要な思考力、判断 力、表現力等を育む こと	・扱う語彙数に関しては、現行1,241 語に対して、1,625 語となっている。内訳は、新語(発信語彙)324 語、新語(受容語彙)1,158 語、固有名詞等143 語となっている。 ・言語活動の設定数は、3学年通して、「Listen 122 回」「Speak/Talk 255 回」「Read 92 回」「Write 121 回」となっている。話す活動の比重がかなり大きい。 ・各単元の言語活動の構成は、「とびら」→「Scenes」習得→「Think」思考→「Retell」表現→「Interact」表現となっている。また、学期に1回の活動として、各学年に「Our Project」が位置付けられている。 ・思考力、判断力、表現力を育む活動が、各学年3回ずつ位置付けられている。それぞれ、1年では、「自分のことについてスピーチ」、2年では、「夢の旅行についてグループでスピーチ」、3年では、「自分の町について PR」などがある。4技能5領域を活用しながらも、「話すこと」を大切にした活動内容になっている。
全 主体的に学習に取り組む態度を養い、 個性を生かし多様な 人々との協働を促す とともに、生徒の学 習習慣が確立するよ う配慮すること	・SDGs の観点に沿った「地球市民としての心を育む」題材が、1年~3年で10、「日本の伝統・文化を見つめ直す」題材が4つ、「異文化や国際社会について知る」題材が3つ、「自然科学に目を向け生物界の人間として自覚を促す」題材が、各学年で1つずつ扱われている。 ・3年 PROGRAM7「Is AI a Friend or an Enemy?」では、AI 技術が急激に発展している現代社会における長所と短所について考え、仲間とともに主体的に考えを述べ合うコミュニケーション活動ができるように配慮されている。 ・2年の Our Project5では、「こんな人になりたい」というテーマで、トーマス・エジソンについて学び、生徒が自ら課題をもち、自分が取り上げた人物について調べ、その人物の功績についてまとめる活動が仕組まれている。
3 学習指導要領に 示された各教科の 配慮事項にかかわ ること	・生徒用教科書にQRコードが付いており、教科書本文やリスニングタスクの音声を聞くことができる。 ・指導者用デジタル教科書を使って、教科書本文のアニメーションを見ることができ、導入時のリスニングの手掛かりとして有効である。また、本年度から写真や絵、語句を使って、本文の内容を再現するRetellが追加された。 ・1年の帯活動やSmall Talk のコーナー「Try」には、小学校の内容を定着させるために繰り返し学習できる活動が位置付けられている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態を 踏まえた教育の充 実に関すること	 ・単元の最初のページにある「扉」には、その単元で目指す姿が3観点で明確に記載されている。また、終末の活動は各単元の Interact の中に位置付けられていて、経験の浅い教員でも指導内容が容易に理解でき、評価しやすいように十分に配慮されている。 ・単元ごとに文法のまとめのページが位置付いており、視覚的にも文の構造が分かりやすいように工夫されている。巻末には基本文のまとめのページが英文と日本文で併記されており、自主的な学習に活用できる。1年生教科書には小学校で学習した単語が別掲でジャンル別に記され、中学校との接続が図られている。
5 印刷・製本にか かわること	 ・1年…AB、381g、7mm、172頁 2年… AB、369g、7mm、172頁 3年…AB、354g、6.5mm、164頁 ・1年前半は小学校の教科書と同じフォント、後半は一般的な活字体に近いフォント。 ・Scene のまとめとして、巻末に日本語訳が収録されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的な知識及び技能を記得させ、こまで活用してはまままでは、 を解決するため、 を解決を思考力、判断 力、表現力等を育む こと	・扱う語彙数に関しては、現行1,232 語に対して、1,642 語に増えている。内訳は受容 語彙1,042 語、発信語彙601 語となっている。また、発信語彙601 語に関しては太字 で表記してある。その他、小学校で学習済みとみなす633 語も掲載されている。 ・言語活動の設定数は、3学年通して、「Listen 95 回」「Speak/Talk 117 回」「Read 91 回」「Write 81 回」となっている。どの活動も平均的に設定されているが、特に「話す」活動に重点を置いている。 ・各単元の言語活動の構成は、「とびら」→「GET」→「USE Read」→「USE Write/USE Speak」→「Take Action! Listen/Talk」となっている。また、学期に1回の活動として、「Project」が設定されている。 ・思考力、判断力、表現力を育む活動が、各学年3つずつ位置付けられている。それぞれ、1年では、「町のガイドブック作り」、2年では、「将来の夢のスピーチ」、3年では、「国際イベントの企画提案」などの活動がある。5領域を満遍なく育成できるような活動内容になっている。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、 個性を生かし多様な 人々との協働を促す とともに、生徒の学 習習慣が確立するよ う配慮すること	・SDGs の観点に沿った「学び、ことば、伝統文化(日本文化)、異文化理解、自然理解、社会理解、人間理解など」のジャンルの話題が各学年とも8つずつバランスよく配置され、生徒の知的発達段階に応じて工夫して取り上げられている。 ・3年 Lesson 3の「The Story of Sadako」では、被爆した佐々木禎子さんの物語を通して、"平和"について考え、現実の国際問題と関わらせながら自分たちができることは何かを考え、意見を伝え合うといった主体的な活動ができるように配慮されている。 ・3年 Project2「国際交流イベントに出展しよう」では、町や地域の文化を紹介するブースで何をアピールしたらよいか考え発表する活動が設定されている。地元や郷土に目を向け、自分で調べたり学習を進めたりするなど、自ら課題を解決する内容になっている。
3 学習指導要領に 示された各教科の 配慮事項にかかわ ること	・QR コードを利用して、本文や新出語句・表現などの音声を聞くことができる。また、 実際の会話動画やアニメを見ることもできる。 ・教師用デジタル教科書では、web サイトの URL を登録しておくとスムーズに見せたい 資料にアクセスすることができる。また、教師自作のワークシートやスライドを取り 込みスムーズに切り替えることができる。 ・Hello Everyone!では、小学校で学んだ言葉の使用場面と語句・表現を振り返ること ができる。また、Starterでは、アルファベットや身近なことについての会話が位置 付けられている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態を 踏まえた教育の充 実に関すること	・単元の最初のページにある「扉」には、単元の目標と、題材に関わる質問が記載されている。また、終末の活動として USE WRITE 又は SPEAK が位置付けられており、経験が浅い教員でも指導する内容が容易に理解でき、評価しやすいようによく配慮されている。 ・単元ごとに文法のまとめページが位置付き、図や表、日本語で丁寧に説明されている。 巻末には基本文が英文と日本語文で併記してあり自主的な学習に活用できる。学習する単語が一覧で整理され、類義語に関しては意味の違いを丁寧に説明している。付録ではジャンルごとに単語が記してあり、自主的な学習の補助とすることができる。
5 印刷・製本にか かわること	 1年…AB、360g、7mm、186頁 2年… AB、343g、7mm、178頁 3年…AB、356g、7mm、186頁 ・ユニバーサルデザインに配慮し、読みやすく、書きやすい独自の書体が使われている。 ・ロールプレイシートが収録されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、こまではまままではでは、こまでは、こまでは、これでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・扱う語彙数に関しては、現行1,378 語に対して、1,663 語に増えている。その内、1,130 語を発信語彙として扱い、さらにその中の986 語を特に覚えたい語として太字で表記してある。また、小学校の既習語として、621 語が掲載されている。 ・言語活動の設定数は、3学年通して、「Listen 140回」「Speak/Talk 88回」「Read 165回」「Write 46回」となっている。聞く活動と読む活動の比重が大きい。 ・各単元の言語活動の構成は、「Part」→「Review」→「Task」→「Grammar」となっている。また、学期に1回の活動として、「Project」が位置付けられている。さらに、各学年「Reading」と「Further Reading」の活動が複数回位置付けられている。 ・思考力、判断力、表現力を育む活動が、1年では2回、2・3年では3回位置付けられている。それぞれ、1年では、「オリジナルの標識の発表」、2年では、「行ってみたい名所の紹介」、3年では、「卒業スピーチ」などがある。5領域を総合的に活用して課題解決に取り組むような内容になっている。
全 主体的に学習に取り組む態度を養い、 個性を生かし多様な 人々との協働を促す とともに、生徒の学 習習慣が確立するよ う配慮すること	・SDGs の観点に沿った「地球や人々の今とこれからを見つめる」題材が、1年~3年で7つ、「日本の伝統・文化を見つめ直す」題材が、1年~3年で11、「好奇心を伸ばし、施行や共感の力を高める」題材が1年~3年で6つ、「日常生活や身近な話題から、社会や将来を考える」題材が1年~3年で2つずつ設定されている。 ・2年 Lesson5「How to Celebrate Halloween」では、様々な国の文化や習慣の類似点や相違点を知り、生徒の興味を高めたり、視野が広がったりするように配慮されている。 ・3年 Project3「ディベートをしよう」では、自分の意見を支える証拠資料を集めたり、意見を予想してスピーチ文を完成させたりする必要がある。自ら調べ、学習を進めるなど、主体的に考えを述べ合うコミュニケーション活動ができるように配慮されている。
3 学習指導要領に 示された各教科の 配慮事項にかかわ ること	・教科書に掲載された QR コードや URL から無料ウェブコンテンツ「まなびリンク」に アクセスし、あらゆる音声を家庭でも聞くことができる。その中でも、即興で話す力 を身に付ける Active Plus を利用することで、ペアでの活発な対話活動を促すことが できる。 ・小学校で経験してきた活動場面や話題が現れるように1年では Springboard が位置付 けられている。すごろくゲーム等も掲載されており、楽しみながら中学校の英語へと 導入することができる。そして、2年、3年ではそれらの活動が少しずつ発展してい く。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態を 踏まえた教育の充 実に関すること	 ・各単元の最初のページにある「扉」には、題材への興味を高めるための質問が記載されている。また、各単位時間には Goal として、目指す姿が明確に示されている。経験の浅い教員でも指導内容を容易に理解し、評価しやすいように配慮されている。 ・単元ごとに文法のまとめが位置付いており、単元で学習した内容を振り返ることができる。巻末には重要構文復習リストが位置付いており、家庭学習につなげることができる。赤い下敷きで文字を隠して学習できる工夫があり、習熟につなげることができる。小学校で学習した単語がジャンル別で示され、小学校との接続が図られている。
5 印刷・製本にか かわること	 1年…AB、370g、7.5mm、176頁 2年… AB、368g、7.5mm、178頁 3年…AB、367g、7.5mm、178頁 読み取りやすいように、英文の折り返しの長さが工夫されている。 各学年にCAN-DOリストが3年分収録されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本的な 知識及び技能を確 実に習得させ、これ らを活用して課題 を解決するために 必要な思考力、判断 力、表現力等を育む こと	・扱う語彙数に関しては、現行1,225 語に対して、1,614 語となっている。小学校で既習の語句574 語も掲載されている。また、中学校初出語649 語を太字表記にしている。さらに、付録の読み物教材などで100 語程度の語彙にふれることができる。 ・言語活動の設定数は、3 学年通して、「Listen 202 回」「Speak/Talk 142 回」「Read 113 回」「Write87回」となっている。聞く活動に重点を置いている。 ・各単元の言語活動の構成は、「扉」→「Part」→「Goal」となっている。また、学期に1回の活動として、「You Can Do It!」が位置付けられている。さらに、巻末には、帯活動として活用できる「Story Retelling」が掲載されている。 ・思考力、判断力、表現力を育む活動が、各学年3つずつ位置付けられている。それぞれ、1年では、「自己紹介」、2年では、「自分の町の観光プランの紹介」、3年では、「3年間を締めくくる言葉の発表」などがある。
全 主体的に学習に取 り組む態度を養い、 個性を生かし多様な 人々との協働を促す とともに、生徒の学 習習慣が確立するよ う配慮すること	・SDGs の観点に沿って「自分と他者、生活・習慣、異文化理解、安全・防災、キャリア、郷土・伝統文化、教育、平和、科学技術、環境問題、人権・共生」の題材が、1年で7つ、2年で13、3年で12あり、多様な見方・考え方を育てる題材が扱われている。 ・3年World Tour「How Do We Live?」では"世界がもし100人の村だったら"の記事を読んで、世界の現状を知り、自分はどう思うか、どのような村にしたいかについて考えをもち、意見を述べ合うコミュニケーション活動ができるように配慮されている。 ・3年 You Can Do It!「過去と現在の相違点を挙げよう」では、町の歴史について調べる町博士のアシスタントになり意見を発表する活動がある。地元の過去について調べたり、未来を予想したりしながら、自ら課題をもち、学習を進めることができる内容である。
3 学習指導要領に 示された各教科の 配慮事項にかかわ ること	 ・生徒用教科書上部のQRコードを利用し、本文音声、リスニングアクティビティー音声、本文スライドアニメ等様々なコンテンツに無料でアクセスすることができる。 ・小学校の学びと繋ぐために、中学校1年の導入期は話す活動を中心に設定されている。また、その内容は「好きな色」や「行ってみたい国」など、小学校で慣れ親しんだ表現を振り返ることができるようになっている。 ・1年でのトピックとして「自己紹介」「部活動」「夏休み」などが小学校と重なることから、小学校での既習の語彙を繰り返し使い、定着を図るように仕組まれている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態を 踏まえた教育の充 実に関すること	・各単元の最初のページにある「扉」には、中心となる2観点の目指す姿と、話の概要が記載されている。また、終末の活動は、各単元毎に Goal が位置付けられていて、経験の浅い教員でも指導内容を容易に理解し、評価しやすいように配慮されている。 ・それぞれのPartで基本文が示され文法の説明が丁寧になされ、文法のまとめがActive Grammar として位置付いている。巻末には基本文が一覧となっており、自主学習で活用ができるよう工夫されている。単語一覧では、小学校で学習した単語にマークが記してあり小学校の学習との接続が図られている。
5 印刷・製本にか かわること	 1年…AB、382g、8mm、190頁 2年… AB、381g、7.5mm、190頁 3年…AB、381g、8mm、190頁 とじ込み付録の小冊子がついており、読む練習や言語活動で活用できる工夫がある。 英語の学び方ガイドが収録されている。

調査項目	
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	・扱う語彙数に関しては、1,715 語となっている。新出語句をWords で取り上げ、発信活動に利用できるTool Box やWord Box も拡充させてある。 ・言語活動の設定数は、3学年通して、「Listen 103 回」「Speak/Talk 234 回」「Read 103 回」「Write 101 回」となっている。話す活動に重点を置いている。 ・各単元の言語活動の構成は、1年では、「Part」→「Read & Think」となっている。 2・3年では、「Unit 扉」→「Part」→「Read & Think」→「Express Yourself」→「More Information」となっている。また、学期に1回の活動として、「Project」が位置付けられている。さらに3年では、高校との接続のために、「Further Study」が位置付けられている。 ・思考力、判断力、表現力を育む活動が、1・2年で3つ、3年で4つ位置付けられている。それぞれ、1年では、「友達にインタビュー」、2年では、「あこがれの職業について発表」、3年では、「日本の伝統行事の紹介」などがある。3年間を通して、様々な種類の統合的な言語活動を行えるような構成になっている。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、 個性を生かし多様な 人々との協働を促す とともに、生徒の学 習習慣が確立するよ う配慮すること	・SDGsの観点に沿った題材は、2年で5つ、3年で8つを取り扱っている。さらに「外国、比較文化、日本文化・地域社会、職業・生き方、現代社会・平和、自然・動物・環境」の観点別ジャンルでは、1年で5つ、2年で6つ、生徒が深く考えをもつことができる題材が取り上げられている。 ・3年Unit 1「Food Cultures」では、ハラール・フード(イスラム教で食べてよい食品)についての講演を聞いて、ハラール・フードやハラール・マークについての考えをクラスメイトと話し合うなど、世界の文化について主体的にコミュニケーション活動ができるように配慮されている。 ・3年Unit5「What Can Photos Tell?」では、自分の好きな有名人について書く活動がある。授業をきっかけに、自分にとって興味がある有名人について自分で調べ、その人の魅力と功績をまとめ、自ら課題を解決していく内容が仕組まれている。
3 学習指導要領に 示された各教科の 配慮事項にかかわ ること	・生徒用教科書のQRコードでGet Ready、Let's Talk、Let's Readの新出語句と本文の音声を無料で聞くことができる。さらに、家庭学習ができるように、新出語句の日本語の意味を表示したり、非表示にしたりして切り替えることができる。 ・指導者用デジタル教科書の内容が充実している。教師用デジタル教科書と生徒のタブレット間でデータをスムーズに共有することができ、お互いの意見を書き込み議論することができる。また、音読練習をする際の様々な機能が備わっている。 ・1年生では、小学校で聞くことを中心に学習したことを踏まえ、英語と文字を結び付けたり、場面や状況をイメージして活動したりできるようLet's Start が位置付けられている。
4 東濃地区の教員 及び児童の実態を 踏まえた教育の充 実に関すること	・各単元の最初のページの「扉」には、単元のテーマと単位時間の目標が記載されている。また、終末の活動として、各単元に Express Yourself が位置付けられていて、経験の浅い教員でも指導内容が容易に理解でき、評価しやすいようによく配慮されている。 ・Part ごとに基本文が位置付き、丁寧に説明がなされている。さらに文法のまとめのページが位置付いており、自らの定着を確認できる工夫がある。付録の基本文のまとめでは Target Sentence が整理されており、家庭学習で活用できる。単語一覧に加えジャンル別の単語が数多く示され自主的な学習の補助とすることができる。
5 印刷・製本にか かわること	 1年…AB、327g、6.5mm、158頁 2年… AB、345g、6.5mm、166頁 3年…AB、313g、6mm、150頁 個人の特性にかかわらず内容が伝わりやすい配色・デザインが使われている。 ・反応に使える表現をまとめたものが収録されている。

【種目】 道徳

【発行者】 7 者

- 2 東京書籍
- 17 教育出版
- 38 光村図書出版
- 116 日本文教出版
- 224 学研教育みらい
- 232 廣済堂あかつき
- (233 日本教科書 見本なし)

種 目【特別の教科 道徳】 発行者【2 東京書籍】

調査項目	意見
1 基な能習ら課るな力育・基な能得を題た思表記表記表記を出入力を設定を表現といる。 おいにれてす要断を	 ・各学年の第1教材はB7の「礼儀」を取り上げ、年度当初の新しい仲間や担任との出会いにふさわしい内容項目が大変よく配慮されている。 ・学年ごとに重点項目を設定し、年度始めにルールや集団生活、いじめに関する項目を多く配置し、生徒の発達の段階や学級づくりに配慮した構成が十分図られている。 ・「いじめ問題」「生命の尊さ」について全3教材のユニット構成とし、適切な時期に配置するとともに、複数の内容項目からいじめ問題を多面的・多角的にとらえていけるよう、大変よく配慮されている。 ・「いじめ問題ユニット」では、「共通認識→傍観者・観衆→自分ごと」、「生命尊重ユニット」では、「有限性→連続性→偶然性」の順番で構成の工夫が十分図られている。 ・問題解決的な学習を各学年1テーマ(2教材)ずつ配置し、イラストや教材、話し合いの中で道徳的価値を深く理解できるように大変よく配慮されている。 ・同一内容項目の教材は、ねらいを深めていけるように、発達段階を考慮して構成するなど、大変よく配慮されている。(例 A(5)真理の探究・創造の学年ごとの発展性)
2 主体的組むを生人促生が確立を生人のとととのでは、1 をはいるととのでは、1 をはいるとのでは、1 をはいるには、1 をはいるにはいるには、1 をはいるにはいるにはいるにはいるには、1 をはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるに	 ・各教材の最後に「自分を見つめよう」という項目があり、資料を離れて自分との関わりで捉えることができる手立ての工夫が十分図られている。 ・言葉では表現しにくい微妙な心情の変化を可視化し、自己との対話を通して自分との関わりで捉えることのできるように「心情円」が準備されるなど大変よく配慮されている。 ・グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングを「ACTION!」として配置し、体験的な学習(役割演技等)ができるよう十分配慮されている。 ・難しい文章を省くことで教材の内容がより理解しやすくなり、自分との関わりで捉えやすくする工夫が大変よく図られている。 ・家庭や地域社会と連携するための教材はどの学年も年間3時間ある。特に3年生では、3月の最後の授業に「社会参画」の教材が配置され、よく配慮されている。
3 学習指導 要領に示され た各教科の配 慮事項にかか わること	・教材ごとに関連のある教科が教材ページにマークで示されており、大変活用しやすい。 ・『郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度』(C-16) 1 年2教材 2年1教材 3年1 教材 1年「ふるさとのために」では、恵那市串原町が取り上げられている。 ・岐阜県に関わりのある教材として、2年「6千人の命のビザ」があり、付録教材として「郷土のことを考える」ページでは、郷土の発展を支える人物、伝統、文化、技術、産業の紹介をする工夫が十分に図られている。
4 東濃地区 東濃及び児 童の教実態を育の 充実に関する こと	 ・巻頭に、短く分かりやすい資料を用いたオリエンテーションが位置付けられ、「考え・議論する道徳」の学習方法を体験しながら確認することができるよう十分配慮されている。 ・巻末に自己評価や心に残った教材などの振り返りが位置付けられ、生徒の変容を一定期間のまとまりの中で見ることのできる工夫が十分図られている。 ・どの教材も「考えよう(中心発問)→自分を見つめよう(自己を振り返る設問」という流れで設問が示されており、授業を行いやすくする工夫が十分図られている。 ・巻末に「ホワイトボード」や「心情円」が付属されていて、意見を発表することが苦手な生徒でも、考え議論することのできるツールの充実が十分に図られている。
5 印刷・製本にか かわること	・大きさAB版 平均201P 重さ398グラム ・道徳ノートなし。 ・UDフォントが使われており、色覚特性に十分配慮されている。 ・目次には、4つの視点別に教材が色分けており十分に配慮されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、これのでは、	 ・学年の発達段階に即して、1年生では、自分自身に関わること(Aの視点)の教材を多く扱い、学年があがるにつれて、人との関わり(Bの視点)や集団と社会との関わり(Cの視点)の教材の比重が大きくなっており、学年段階ごとの発展性を意識した構成になるよう、十分に配慮されている。 ・5月に部活動、9月に体育祭、11月に合唱祭、2月に3年生を送る会など、生徒の発達段階や実態、学校行事の時期を考慮した教材の配列になるよう十分に配慮されている。 ・いじめ、人権に関わる時数が1年生は7時間、2年生は6時間、3年生は4時間と多く配列されており、今日的な課題を意識しながら考えていくことができるよう、配慮されている。 ・第1学年「裏庭でのできごと」、第2学年「譲る気持ちはあるのに…」等の教材では、「やってみよう」の活動ページを配置することで、問題解決的な学習や体験的な学習を授業の中に取り入れることができるよう配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態を生かのときない。 多様のととををしている。 生徒のはいる はいい はい	・巻頭のオリエンテーションでは、交流し合い考えを深める学習場面が示されており、多面的・多角的に考える学びの例示がよく図られている。 ・各教材の最後に「学びの道しるべ」という項目があり、どの教材も3つ目の発問が資料から離れて考える発問となっており、自分との関わりで捉えることができるよう、よく
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 ・他教科との関連が教材一覧表(別紙)に記載されており、教育活動全体との連携が図れるよう配慮されている。 ・岐阜県に関わりのある教材として、2年生「6千人の命のビザ」、「怒りの救助活動」がある。「6千人の命のビザ」は、地域人材の活用ができるよう配慮されている。 ・巻末資料として「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」があり、地域に根付く伝統や文化を取り上げる配慮がされている。 ・1つの教材に複数の内容項目(最小1つ 最大6つ)が設定されており、教育活動全体と関わらせて指導しやすい工夫が図られている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・オリエンテーションページで「一時間の道徳の学習の流れ」や「この教科書で学んでいくテーマ」が示されており、生徒が毎時間の学習展開をイメージすることができるよう、よく配慮されている。また、教師もそれを用いれば学習の進め方の指導がしやすく、指導方法の工夫がよく配慮されている。 ・巻末に一時間ごとの道徳の学びを記録できるページや、学期末・学年末に自分の学びを振り返るシートがあり、生徒が自らの学びを振り返ったり内面的に自覚したりできるよう、よく配慮されている。また、教師も生徒の学びを集約して、評価に役立てることができるよう、よく配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・大きさB5版 平均207P 重さ368グラム ・道徳ノートなし。 ・UDフォントが使われており、色覚特性への配慮もよくされている。 ・目次には、4つの視点別に教材が色分けされており、生徒にとって見やすい配慮がよく されている。

種 目【特別の教科 道徳】 発行者【38 光村図書】

調査項目	意見
1 基礎的・基本的・基本では、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	 ・巻頭に道徳の学び方のページを設け、他者との考え方の中で、また、自分を見つめてどのように考えるかのイメージをもたせる工夫がよく図られている。 ・年間を3つのシーズンに分け、指導内容ごとにユニット化されているため、年間の行事や発達段階との関連がよく図られている。(社会問題との関連も意識されている。) ・発問が「主人公に関すること」「見方を変えて」「生活につなげる」という構成で統一されていて分かりやすい。また、「生活につなげる」発問は、他教科とのつながりや生活の具体的な場面とのつながりがよく配慮されている。 ・「いじめを許さない心について考える」ユニットでは、2つに教材の間に「深めたいむ」が位置付けられていて、考えを深め、広げることができる構成になっている。 ・「いじめ問題」と「情報モラル」については、全学年に「深めたいむ」が位置付けられ、3年間を通して考える工夫がよく図られている。 ・生命尊重の内容項目が、1年生は動物、2年生は誕生、3年生は死と、発達の段階に応じて取り扱いに工夫がよく図られている。
2 主体的に学習に 取り組む態度を生い の様なしなっとの 働を促すととも に、生徒の学習習 間が確立すること	・「深めたいむ」のページを設け、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	 ・他教科との関連では、本誌巻末に一覧表で位置付いており、「つなげよう」のページでは、他教科や日常生活、他教材との関連を紹介するなど配慮されている。 ・現代的な課題を自分事として考えられるよう様々な教材で扱っている。特に、環境、国際理解、共生については3学年で扱い、コラムを用意する工夫がよく配慮されている。 ・付録資料として「日本の郷土玩具」「日本各地の世界遺産」(白川郷・五箇山の合掌造り集落)「日本の先駆者たち」が紹介されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・巻頭の「道徳の授業を始めよう」のページに、道徳の授業で何を学ぶのか、どのように 学ぶのか、大変よく配慮されている。 ・巻末に、「ポートフォリオ形式の振り返りシート」があり、シーズンごとの振り返りや1 年間の振り返りに活用することができるようによく配慮されている。 ・「深めたいむ」や「広げよう」のコーナーを用いることで、話合いや深め合いの指導がし やすい工夫がよく図られている。
5 印刷・製本にかか わること	 ・大きさB5版 平均202P 重さ342グラム ・道徳ノートなし。 ・UDフォントが使われており、色覚特性への配慮がある。 ・目次は、全体を3つのシーズンに分け、それぞれの目標「学びのテーマ」、ユニットごとの細かなテーマも位置付いている。 ・巻末に「学びの記録」があり、毎時間の振り返り、シーズンごとの振り返りができる。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、このでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、 はいのでは、 は	 「いじめ」「よりよい社会と私たち」についてユニット構成とし、適切な時期に配置するとともに、いじめ問題に関しては直接的、間接的に扱う複数教材を位置付けるなど、生徒が問題意識をもって取り組めるよう、大変よく配慮されている。 ・新ユニットとして「よりよい社会と私たち」を位置付け、生徒たちがよりよい社会を主体的に創造していく意識を高めるなど、社会に開かれた教育課程の実現を配慮している。 ・問題解決的な学習を各学年4教材ずつ配置し、議論のステップを示すことで学習を進められるようよく配慮されている。 ・体験的な学習を各学年2教材配置し、意見発表の流れを示すことで、活動が進めやすくなるようによく図られている。 ・キャリア教育の理念をもとに、各学年のテーマを1年「新しい自分とであう」2年「人との関係をみつめる」3年「よりよい人生をひらく」とし、系統的・発展的な学習ができるよう十分に配慮している。
2 主体的に学習に 取り組む態度を い、個性を生かの 働を促すととの 働を促すととも に、生徒の学習習 慣が確立すること	・教材冒頭に主題名を示し、教材を通して何について考えていくのか明らかになるように十分配慮されている。 ・「プラットホーム」というページを設けることで、資料から離れて自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりすることができるよう十分配慮されている。 ・毎時間「考えてみよう」「自分に+1」というコーナーがあり、前者は教材文に関わる発問が、後者は教材文から離れて一般化する発問が示されており、問題解決的な学習を行ったり自分との関わりで捉えられたりできるよう、十分配慮されている。 ・「問題解決的な学習」や「体験的な学習」に適した教材には、参考例として「学習の進め方」を設けている。問題をつかみ、自分で考えてみて、議論するという3ステップで展開が示され、道徳的価値を自分との関わりで捉えていけるよう十分配慮されている。
3 学習指導要 領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・日常生活と他教科との結びつきを考え、「プラットホーム」を配置し、考えや視野を広げる工夫が十分図られている。また、他教科との関連は本誌巻末に一覧表で位置付いており、大変活用しやすい。 ・『郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度』(C-16) 1年2教材 2年1教材 3年1教材 2年「和樹の夏祭り」では、参考資料として「郡上おどり」の特集ページがあり、身近な内容として捉えやすいように十分配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・巻頭に「道徳科で学ぶこと」「学び方」の記載があり、学び方を身につけるうえで十分に配慮されている。 ・「自分に+1」により、授業で学んだことを自分との関わりで捉えるよう、よく配慮されている。 ・別冊「道徳ノート」があり、しっかりと活用することにより、生徒一人ひとりの学習状況や道徳性に係る成長の様子を確認していくことができ、よく配慮されている。また、自分や友達の意見を記述する欄があることで、「考え、議論する道徳」に役立てる上でよく配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・大きさB5版 平均198P 重さ339グラム ・全ての教材の道徳ノートあり。 ・UDフォントが使われており、色覚特性への配慮がよく成されている。 ・中学校で習う漢字には全てふりがなが付けられており、よく配慮されている。

調査項目	意 見
1 基礎的・基本的・基本をせいるとは、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、 はいのでは、 はいので	・全学年で4つの価値項目のバランスを考慮して教材が配列されている。 ・全学年で D (19)「生命の尊さ」を3時間ずつ配列して、「命の教育」を重点テーマとして学習できるように構成されている。 ・全学年で「いじめ防止」につながる教材を4~6教材程度配列しており、重点的に学習できるよう配慮されている。 ・全学年において、「深めよう」で問題解決的な学習対応教材や、役割演技を含む体験的な学習対応教材が配置されていて、思考力、判断力、表現力等を育むことができるようによく配慮されている。 ・現代的な課題(情報モラル・UDなど)に関連する教材を多く取り扱い、生徒が学ぶことができるように、よく配慮されている。 ・「SDGs」「キャリア教育」のユニット学習では、異なる価値項目の教材で構成することで、多面的多角的に考えられる学習になるよう、よく配慮されている。
2 主体的に学習に 取り間性をといる 動を促すととも は、生徒のは は、生徒のすると に、確立すること でであること	的・多角的に考えたりすることができるよう、よく配慮されている。(例)3年「未来の日本ヘデビュー」P112、「便利なスマホ 使い方次第で」P122、「礼儀って何」P142、「優介の決意」P146
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・他教科との関連は教材一覧表 (別紙) に記載されているため、関連を図りやすい。 ・「深めよう」のページでは、「生き方につなげよう」として自分を振り返って考える発問が位置付けており、教育活動等との関連が図れるよう、よく配慮されている。 ・『郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度』(C-16) 1 年 1 教材 2年 1 教材 3年 1 教材が配置されている。 ・岐阜県に関わる教材として、2年「白川郷に魅せられて」「杉原千畝の選択」深めよう「杉原千畝の選択について考える」があり、地域人材の活用ができるようによく配慮されている。
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・巻頭に「道徳で学ぶこと・考えること」が4つのステップで分かりやすく記載されている。また、「深めよう」のページで、その4つのステップの具体的な例が示されている。 ・1時間ごとの「ワークシート」や巻末の「学びの記録」があり、自分の成長を客観的にとらえることができ、教師も評価の参考にすることができるよう、よく配慮されている。 ・「クローズアップ」は、資料から離れ、自分との関わりで捉えさせる授業展開をつくることに大変役立てることができる。
5 印刷・製本にかか わること	・大きさAB版 平均196P 重さ370グラム ・道徳ノートなし。 ・UDフォントが使われており、色覚特性に対し、よく配慮されている。 ・目次には、4つの視点別に教材が色分けされて、視点が分かりやすい。 ・巻頭に「マイプロフィール」という自分みつめのページと、巻末に「心の四季」「未来への扉」のページがある。また、巻頭には「学びの記録」として学期末の振り返りがあり、生徒が学びやすいように、よく配慮されている。

調査項目	意見
1 基礎的・基本では、ここのでは、ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、まままでは、まままが、まままが、ままが、まままが、 ままが はい	・全学年で4つの価値項目をバランスよく配置している。また、年度当初は「A 自分自身に関わること」、その後、「B 人とのかかわりに関すること」「C 集団や社会との関わりに関すること」が多く配置される構成になっていて、自分自身から周囲へ視野を広げていくことができるよう、よく配慮されている。 ・全学年で「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」の4項目を3時間ずつかけて系統的に学習できるようによく配慮されている。 ・いじめ防止・人権尊重に関わる教材が1年3時間、2年4時間、3年6時間配列されている。 ・全学年で問題解決的な学習対応教材、体験的な学習対応教材を複数配置し、思考力、判断力、表現力等を育むことができるようよく配慮されている。 ・別冊の道徳ノートの「学習の記録」のページが自由に記述できるようになっており、自分の意見を書きやすくする配慮がされている。
全 主体的に学習に 取り個性を生か態度を 動を促すととの は、生徒のは に、生徒の学習よ に、確立すると でですると	・教材の最後に「考える・話し合う」のコーナーがあり、教材について考え、そのあと資料から離れて考える発問を示すことで、生徒が学習の見通しをもち、主体的に学ぶことができるよう構成されている。・生命尊重の資料の取り扱いが多く、今日的な問題に対し、生徒が問題意識をもって取り組
3 学習指導要領に示された各 教科の配慮事項 にかかわること	・他教科との関連は本誌巻末に一覧表として記載されている。 ・「考える・話し合う」のコーナーでは、「学習の手がかり」として2つから3つの発問、「考えを広げる・深める」として1つの発問が位置付いている。 1年「アップルロード作戦」(関連教科:国語・社会・総合・特活)では「あなたの郷土のシンボルはなんだろう。その維持発展のために、あなたはどのようなことをしているか。」・『郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度』(C-16)1年1教材 2年1教材 3年1教材 (別冊道徳ノートに内容項目に関わる資料が各学年1Pずつ掲載されている。)
4 東濃地区の 教員及び児童の 実態を踏まえた 教育の充実に関 すること	 ・巻頭に学年の発達段階に応じた「道徳の時間の意義」や「道徳の学び方」の記載がある。 ・教材の最後に「考える・話し合う」というコーナーがあり、発問(大体2つ)と自己を振り返る発問の具体例が載っており、内容項目に沿った発問を生徒に提示することができるよう配慮されている。 ・別冊の道徳ノートに「一時間ごとの学習の記録」や「学期や年間のまとめ」があり、評価に活用できる工夫がなされている。 ・各教材の最後に著名人の格言が掲載されていて、教師の説話等に活用することができるなど配慮されている。
5 印刷・製本にかか わること	・大きさAB版 平均174P 重さ355グラム ・道徳ノート(資料)あり。 ・UDフォントが使われており、色覚特性への配慮がよくされている。文字や行間が統一されている。 ・巻末には、4つの視点別の教材一覧表があり、「いじめ」「情報モラル」「持続可能な社会」についての特集ページがある。 ・道徳ノートでは、毎時間の「学習の記録」と「心の残っている授業」「心のしおり」のページがある。また、22の内容項目に関わる資料がある。